

# 令和6年度 防災・減災に関する県民意識調査結果

## 1 調査の目的及び集計結果の概要

### (1) 調査の目的

- 広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の令和6年度の取組実績の把握
- 運動を進める上での課題の抽出や、その解決方策の検討

- (ア) 対象者 : 県内在住の満18歳以上の男女5,000人
- (イ) 調査期間 : 令和7年1月15日(水)～2月7日(金)
- (ウ) 有効回答数 : 2,397件(回答率47.9%)

### (2) 集計結果の概要

#### ① 全体指標

行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果		R6 (目標)	R7 (目標)
	R6 (2月)	R7 (2月)		
5つの行動目標(②)を全て実践している人の割合	30.5%	<b>31.4%</b>	44.0%	50.0%
避難の準備行動(①かつ②)ができていない人の割合	9.9%	<b>15.7%</b>		

【参考】「避難の準備行動ができていない」の構成要素

①	【行動する】	マイ・タイムラインの作成
②	【知る】	災害の種類に応じた、避難場所・避難経路の確認
	【察知する】	災害リスク情報を自ら入手するためのツールを確保
	【行動する】	防災教室・防災訓練への参加
	【学ぶ】	
	【備える】	非常持出品を用意し、かつ3日分以上の食糧及び飲料水を備蓄

#### ② 個別指標

行動目標	行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果		R6 (目標)	R7 (目標)
		R6 (2月)	R7 (2月)		
知る	災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合	62.9%	<b>66.4%</b>	100%	100%
	水害・土砂災害リスクの認知度	70.5%	<b>70.5%</b>	97.0%	100%
察知する	災害リスク情報を自ら入手するためのツールを確保している人の割合	81.5%	<b>83.2%</b>	70.0%	80.0%

行動する	マイ・タイムラインを作成している人の割合	17.6%	<b>21.4%</b>	52.0%	60.0%
行動する・学ぶ	防災教室・防災訓練へ参加した人の割合	60.6%	<b>62.8%</b>	57.0%	60.0%
備える	非常持出品を用意し、かつ3日以上以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合	60.3%	<b>63.4%</b>	66.9%	70.0%
	家具等の転倒防止を行っている人の割合	64.7%	<b>65.7%</b>	66.4%	70.0%

## 2 集計結果の分析等

調査の集計結果について、広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議の委員である有識者2名から、防災や社会心理学の観点での分析や示唆をいただいた。

(有識者) 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 坂田 桐子 氏(社会心理学)  
 山口大学大学院創成科学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏(防災)

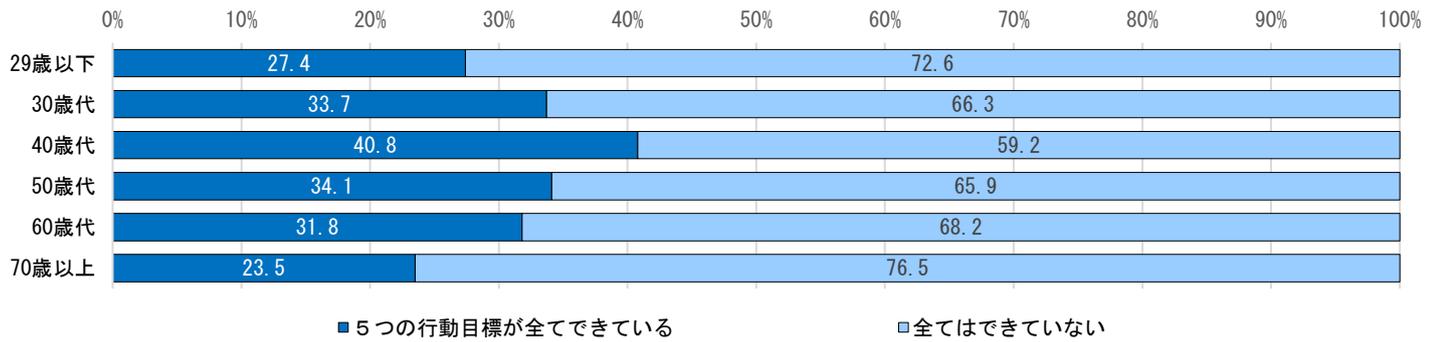
## 3 行動計画に掲げる成果指標ごとの分析概要

### (1) 全体指標

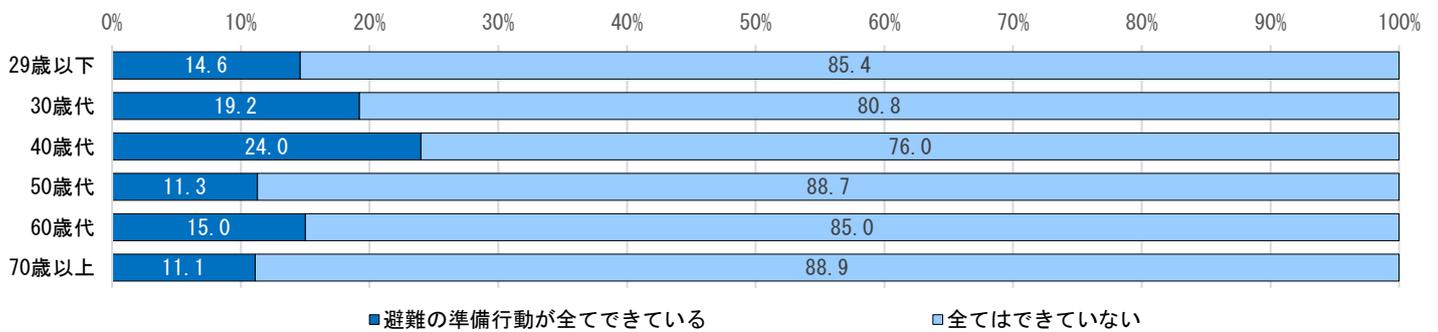
行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果		R6 (目標)	R7 (目標)
	R6 (2月)	R7 (2月)		
5つの行動目標(②)を全て実践している人の割合	30.5%	<b>31.4%</b>	44.0%	50.0%
避難の準備行動(①かつ②)ができている人の割合	9.9%	<b>15.7%</b>		

- 5つの行動目標を全て実践している人の割合について、年代別では「40歳代(40.8%)」で高くなっている。
- 避難の準備行動ができている人の割合について、年代別では「40歳代(24.0%)」で高くなっているが、全体的に避難の準備行動が全てできている人は少ない。

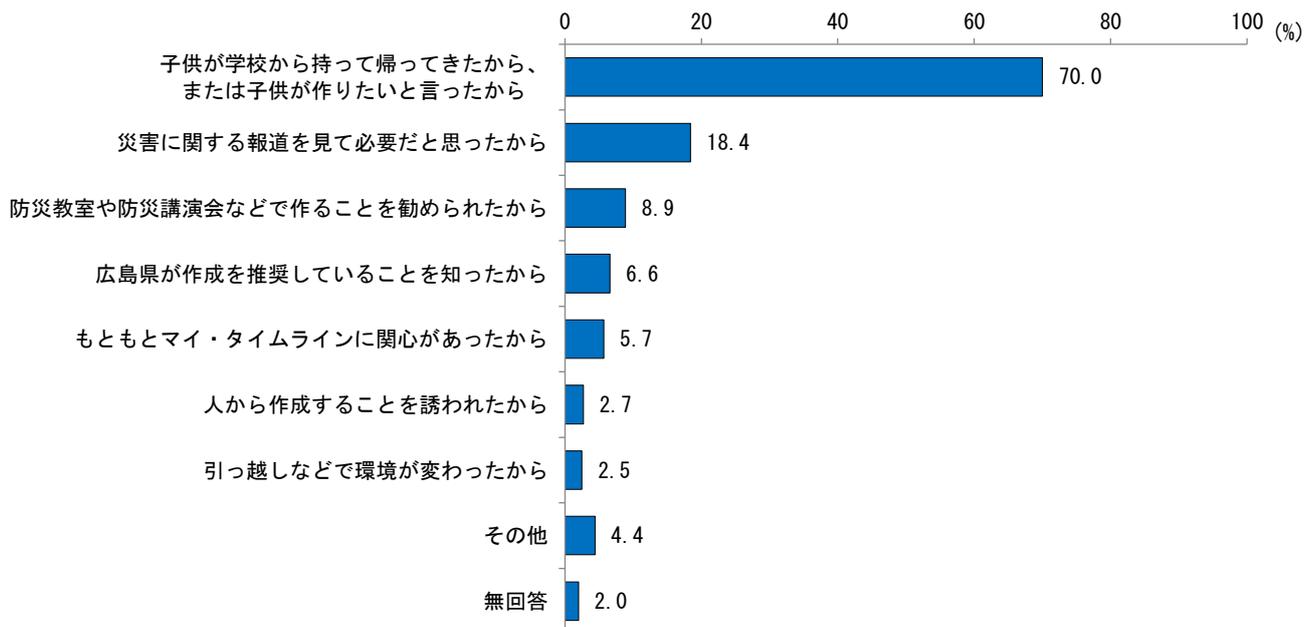
< 5つの行動目標を全て実践している人の割合「年代別」 >



< 避難の準備行動ができていない人の割合「年代別」 >



< マイ・タイムラインの作成のきっかけ >



## ア 有識者による分析や示唆など

- 5つの行動目標（②）を全て実践している人の割合は前年度とほぼ変わらないが、避難の準備行動（①かつ②）ができている人の割合はやや増えている。これは、マイ・タイムラインを作成している人の割合が微増していることを反映していると考えられる。
- いずれも年代別では「40歳代」で高くなっているが、これはマイ・タイムラインの作成のきっかけとして「子供が学校から持って帰ってきたから、または子供が作りたと言ったから（70.0%）」が最多であり、40歳代が子育て世代であることを反映している可能性がある。子育て世代の親に対して、学校を通じた普及戦略が功を奏したといえる。
- 広島県には毎年約4万人が転入していることから、これまで取り組んできた基本的な啓発は、引き続き実施していく必要がある。

## イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 避難の準備行動ができている人の割合は、5つの要素（個別指標）によって構成されているため、取組等については個別指標の項目において記載する。

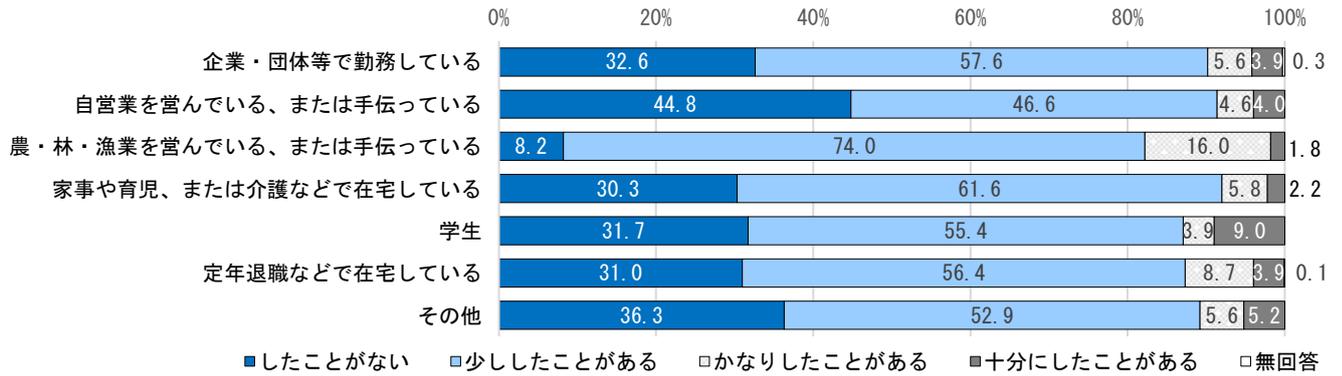
### （2）【行動目標】身の回りの災害危険個所などを「知る」

行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果		R6 (目標)	R7 (目標)
	R6 (2月)	R7 (2月)		
災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合	62.9%	<b>66.4%</b>	100%	100%
水害・土砂災害リスクの認知度	70.5%	<b>70.5%</b>	97.0%	100%

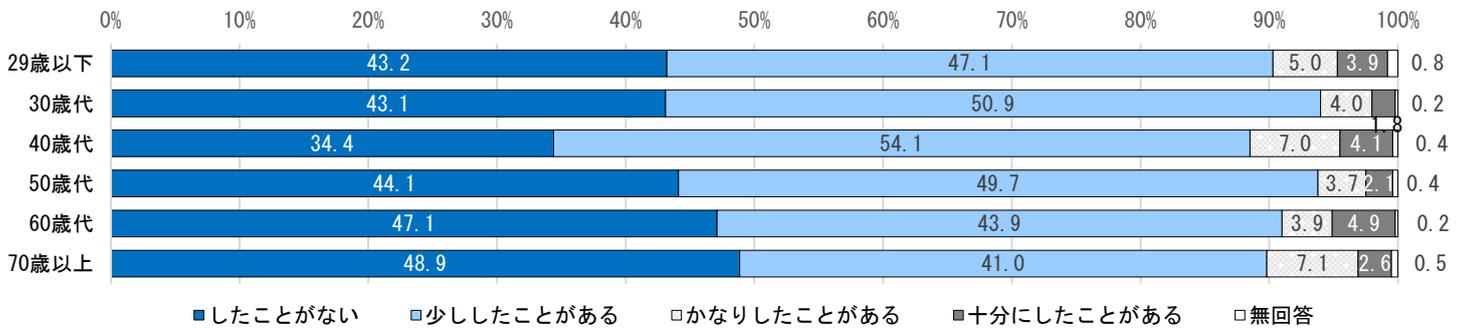
- 避難場所・避難経路を確認した人の割合について、生活形態別（※）では、「農林漁業（91.8%）」で高くなっている。
- 水害リスクの認知度について、年代別では40歳代以上で7割超と高くなっているが、29歳以下では5割と低くなっている。
- 土砂災害リスクの認知度について、年代別では60歳代以上で7割超と高くなっている。

※ 生活形態の分類 ～ 「企業・団体勤務」、「自営業」、「農林漁業」、「家事や育児で在宅」、「学生」、「定年退職などで在宅」

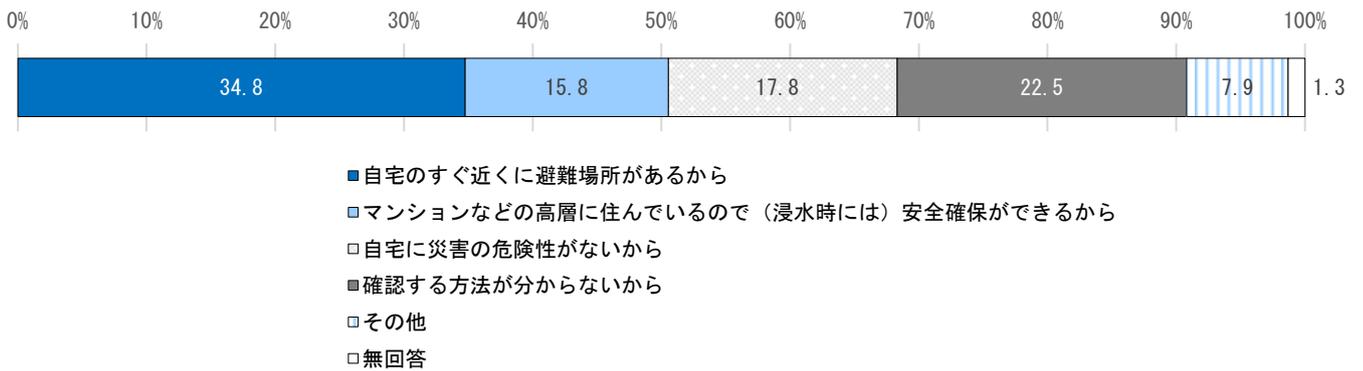
< 避難場所や避難経路の確認の有無「生活形態別」 >



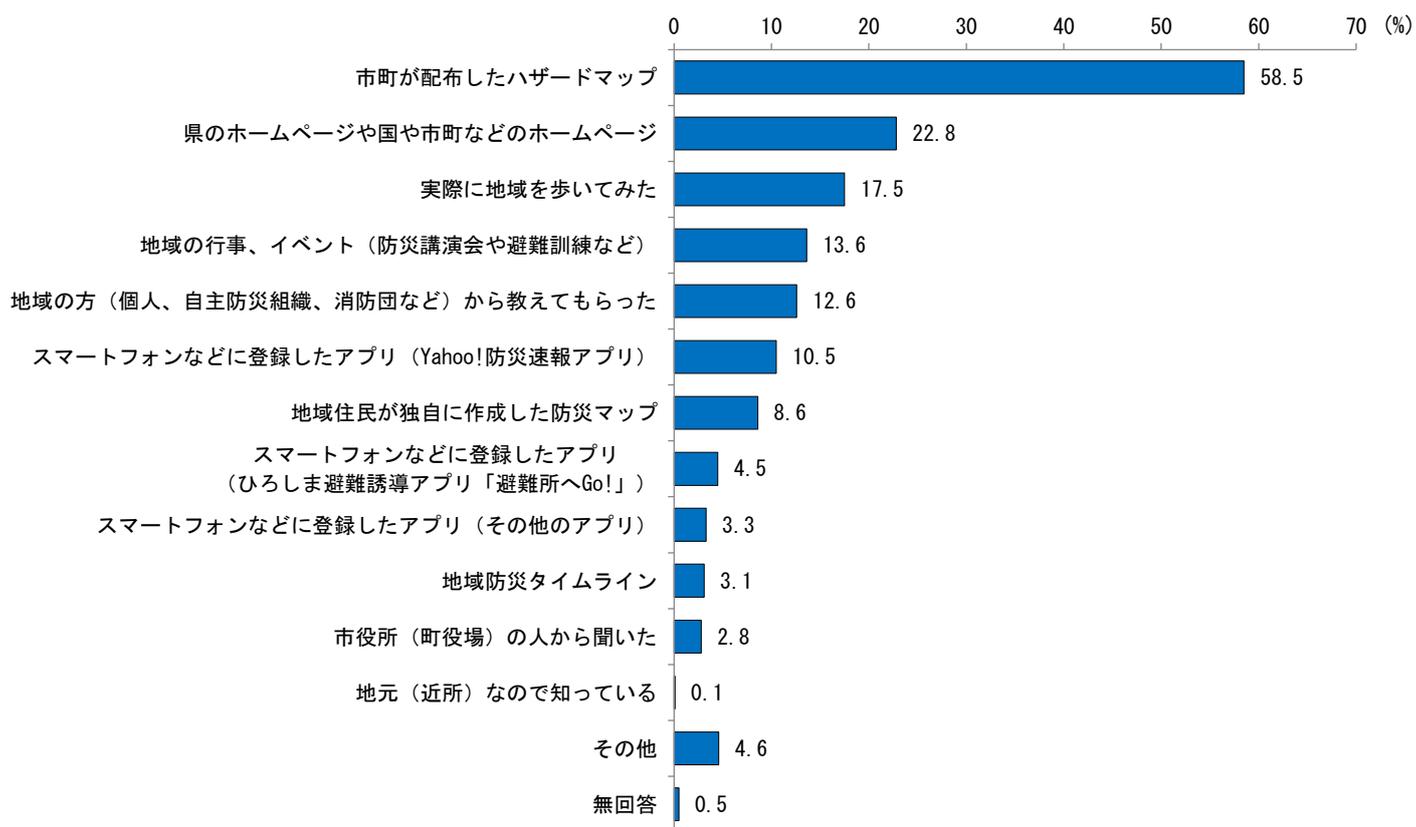
< 避難場所や避難経路の確認の有無「年代別」 >



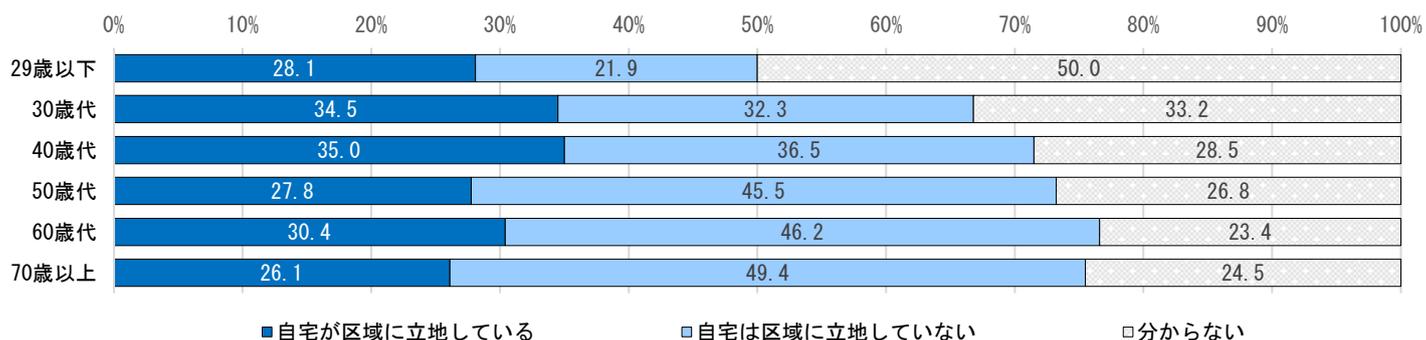
< 「避難場所や避難経路」を確認したことがない理由 >



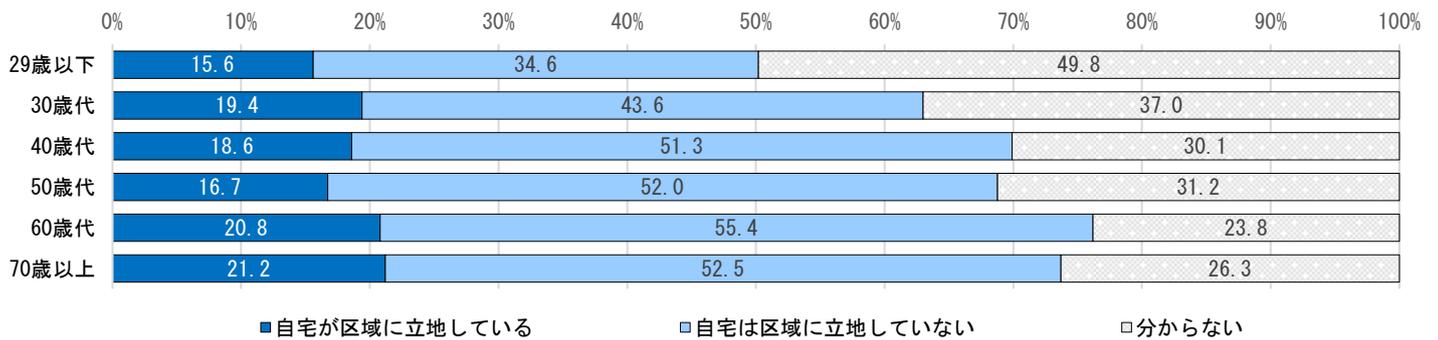
< 避難場所や避難経路の確認方法 >



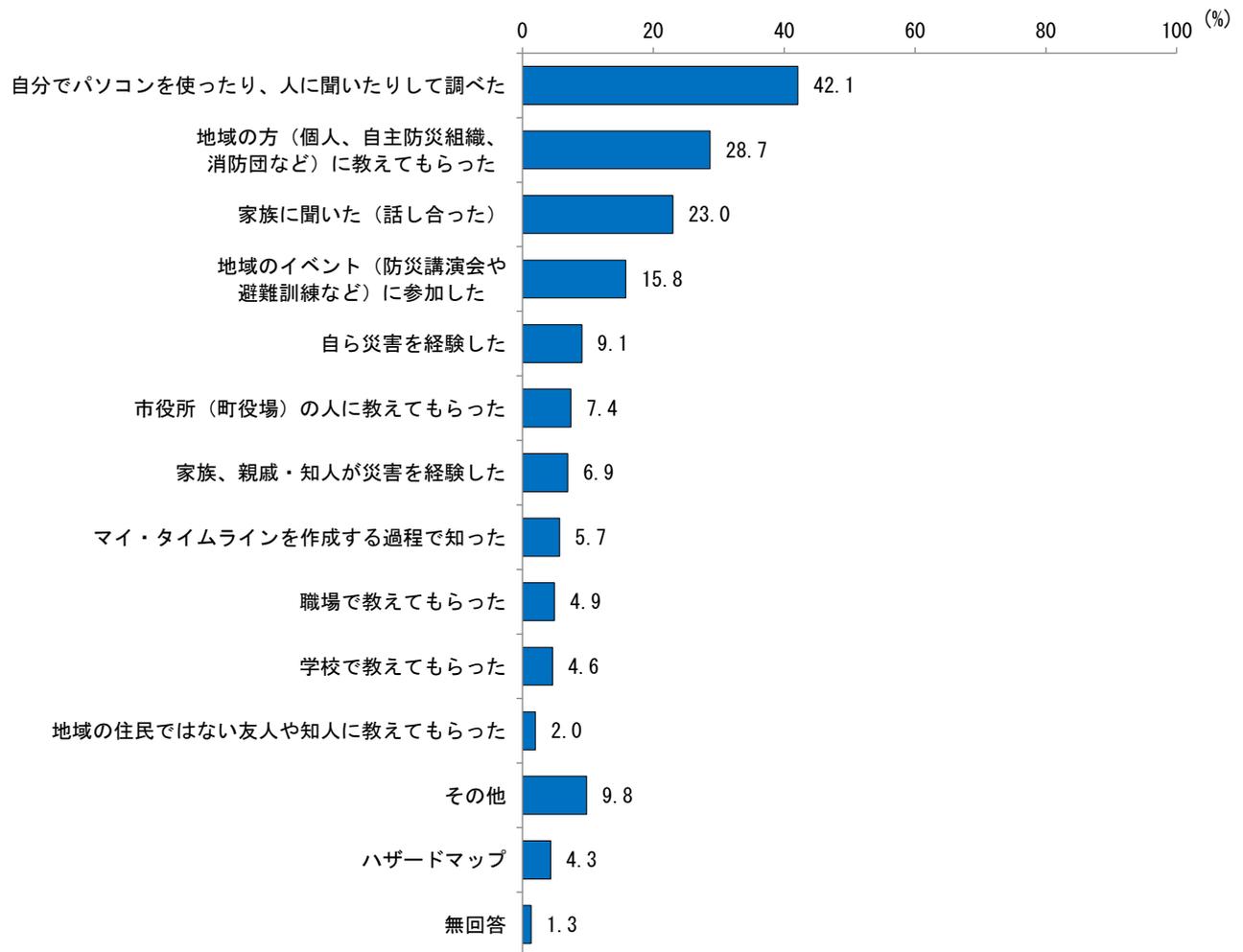
< 洪水浸水想定区域の認知度「年代別」 >



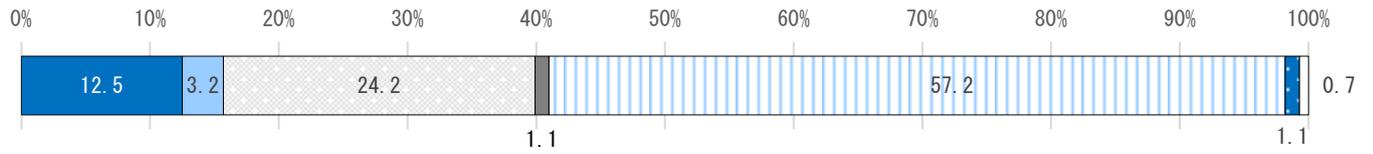
<土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の認知度「年代別」>



<災害の危険性の有無を知ったきっかけ>

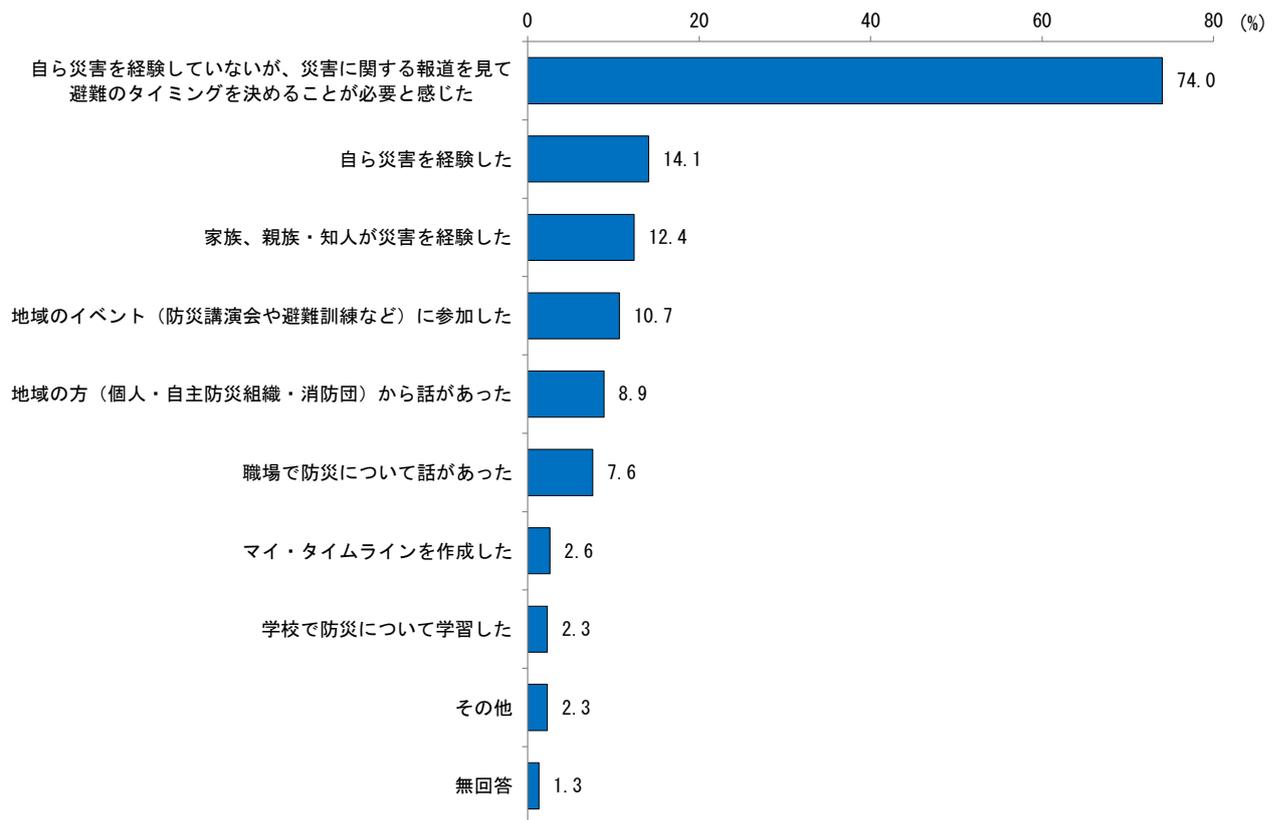


### <事前に避難のタイミングを決めているか>



- 高齢者等避難、避難指示などの避難情報が発令された時に避難することを決めている
- 大雨注意報、大雨警報などの気象情報が発表された時に避難することを決めている
- 水位などの周辺の状況で避難することを決めている
- その他
- 避難するタイミングを決めていない
- 避難するつもりがない
- 無回答

### <避難のタイミングを決めたきっかけ>



## ア 有識者による分析や示唆など

- 災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合は、前年度から微増しているが、確認したことがない理由として「確認する方法が分からないから」が22.5%を占めていることは懸念される。特に、29歳以下の若い層では「確認する方法が分からないから」が35.1%と多い。
- 水害・土砂災害リスクの認知度については、70.5%と比較的高いレベルではあるが、横ばい状態である。
- 水害・土砂災害リスクが「分からない」と回答している人の6割強が、避難場所・避難経路を確認していないことから、まずは自宅周辺の災害リスクを知ることが重要であると考えられる。
- 特に、29歳以下の若い層で、自宅が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域・特別警戒区域に立地しているかどうか「分からない」人の割合が高い。29歳以下の層では、「居住地域の災害の危険性の有無をどのようなきっかけで知ったか」という問いに対して、「自分でパソコンを使って調べたり、人に聞いたりして調べた(42.7%)」が最も多いものの、「学校で教えてもらった(31.9%)」「家族に聞いた(話し合った)(37.2%)」も多いことから、学校や家庭、企業などの身近な外部からの働きかけによって災害リスクを知ること、避難場所・避難経路を確認する動機も高まる可能性がある。
- 自宅が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域・特別警戒区域に立地している人の中でも、事前に避難のタイミングを決めていない人が4～5割に上ることは懸念される。
- 「避難のタイミングを決めたきっかけ」としては、「災害に関する報道を見て避難のタイミングを決めることが必要と感じた(74.0%)」が、他の選択肢に比べて非常に多いことから、災害に関する報道によって避難のタイミングを事前に決めておくことの重要性を周知することが効果的であると考えられる。
- 事前に避難するタイミングについて、マイ・タイムラインの作成等を通じて、タイミングのトリガーの一つとなる防災気象情報の意味を理解し、自身の避難のタイミングを検討する場(研修や出前講座等)や、それらへの参加を促す広報を増やす必要がある。

## イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 小・中学校においては、引き続き、自然災害に備えて日ごろから行うべきこと、いつのタイミングで何をすべきかなどをあらかじめ決めておくマイ・タイムラインや、災害を疑似体験できる VR、周辺地域の災害リスクを確認するキキミル AR などを活用した防災教育を推進しつつ、親子で調べる宿題を出すなどの工夫により、子供を通してその教育効果を家族にも波及させる。
- 一斉防災教室や一斉地震防災訓練への参加を広く呼びかけ、企業や事業所等に対し、自社の社員へ、災害リスクへの認知度向上や避難場所の確認等の啓発を行うよう働きかける。
- 災害リスクの認知度が低い若い世代に訴求できるよう、SNS 等を通じて、ターゲットの関心に絡めた発信をするとともに、特に、梅雨時期や台風時期など県民の防災への関心が高まる時期を捉え、効果的な広報を展開する。
- 土砂災害特別警戒区域の住民にターゲットを絞って、地域の災害リスクの周知と早期の避難行動の啓発、「LINE 版マイ・タイムライン」の作成促進を一体的に行うチラシを配布する。
- 公共施設等への「まるごとまちごとハザードマップ」等の設置箇所を増やすことにより、災害リスクを見える化する取組を進めるとともに、他団体のイベント等と連携し、日ごろ防災情報への関心が低い方々や、防災教育に縁の薄い世代に対しても、幅広く周知を図る。

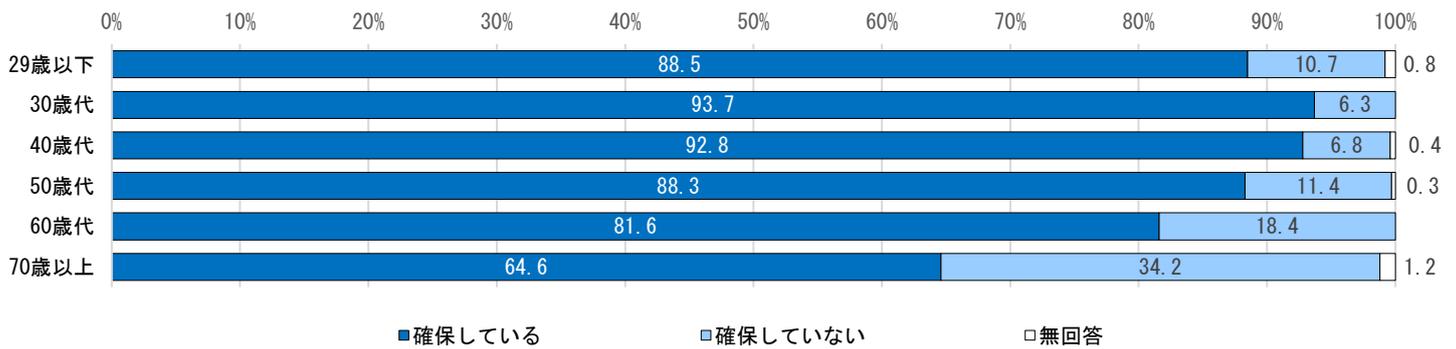
### (3) 【個別指標】災害発生の危険性をいち早く「察知」する

行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果		R6 (目標)	R7 (目標)
	R6 (2月)	R7 (2月)		
災害リスク情報を自ら入手するためのツール(※)を確保している人の割合	81.5%	<b>83.2%</b>	70.0%	80.0%

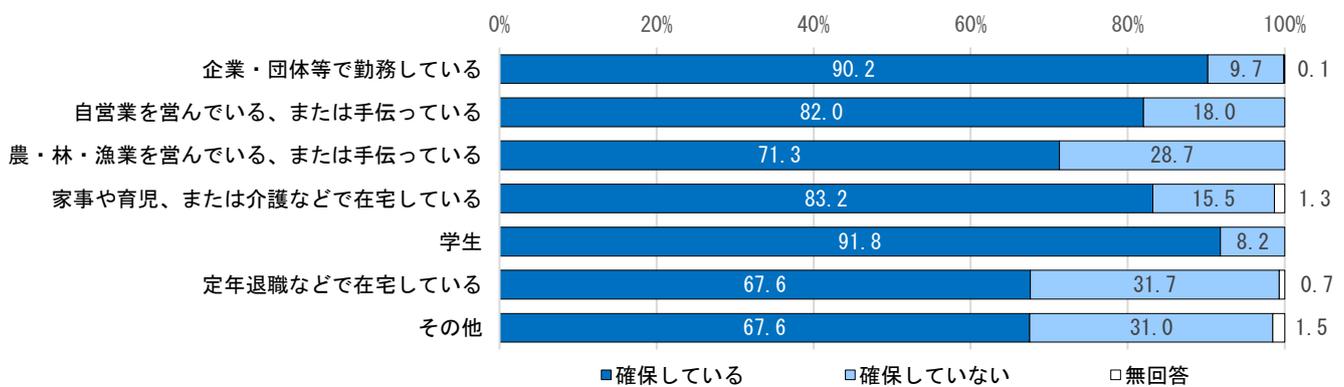
※防災情報メールや防災情報アプリ、SNS など

- 災害リスク情報を入手するためのツールを確保している人の割合について、年代別では 30 歳代～40 歳代で 9 割台と高くなっており、生活形態別では「企業・団体勤務」、「学生」で 9 割台と高くなっている。

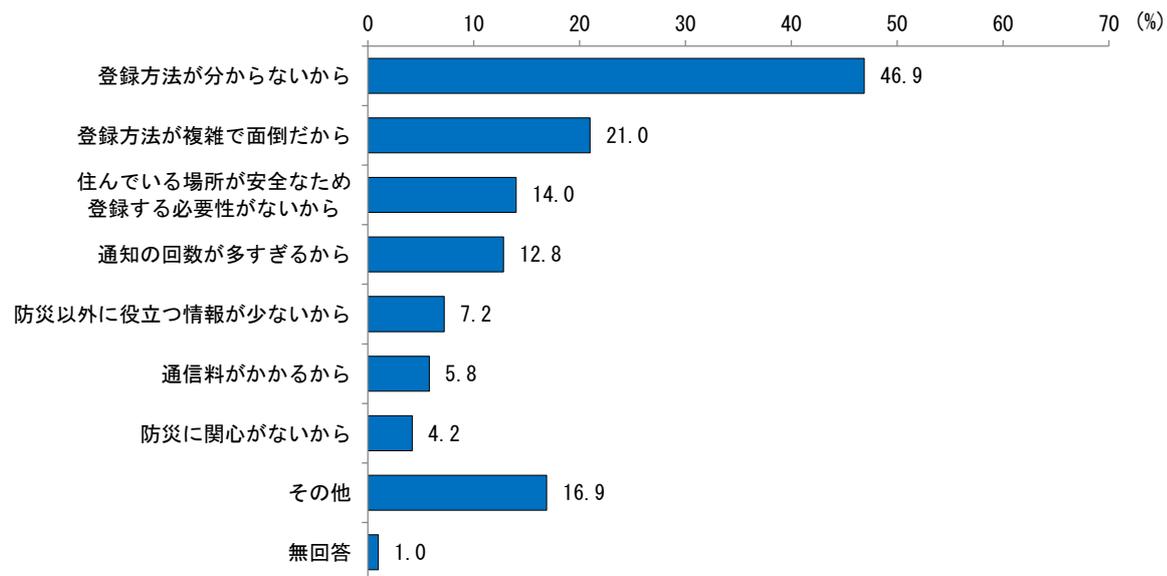
<災害リスク情報の入手ツールの確保「年代別」>



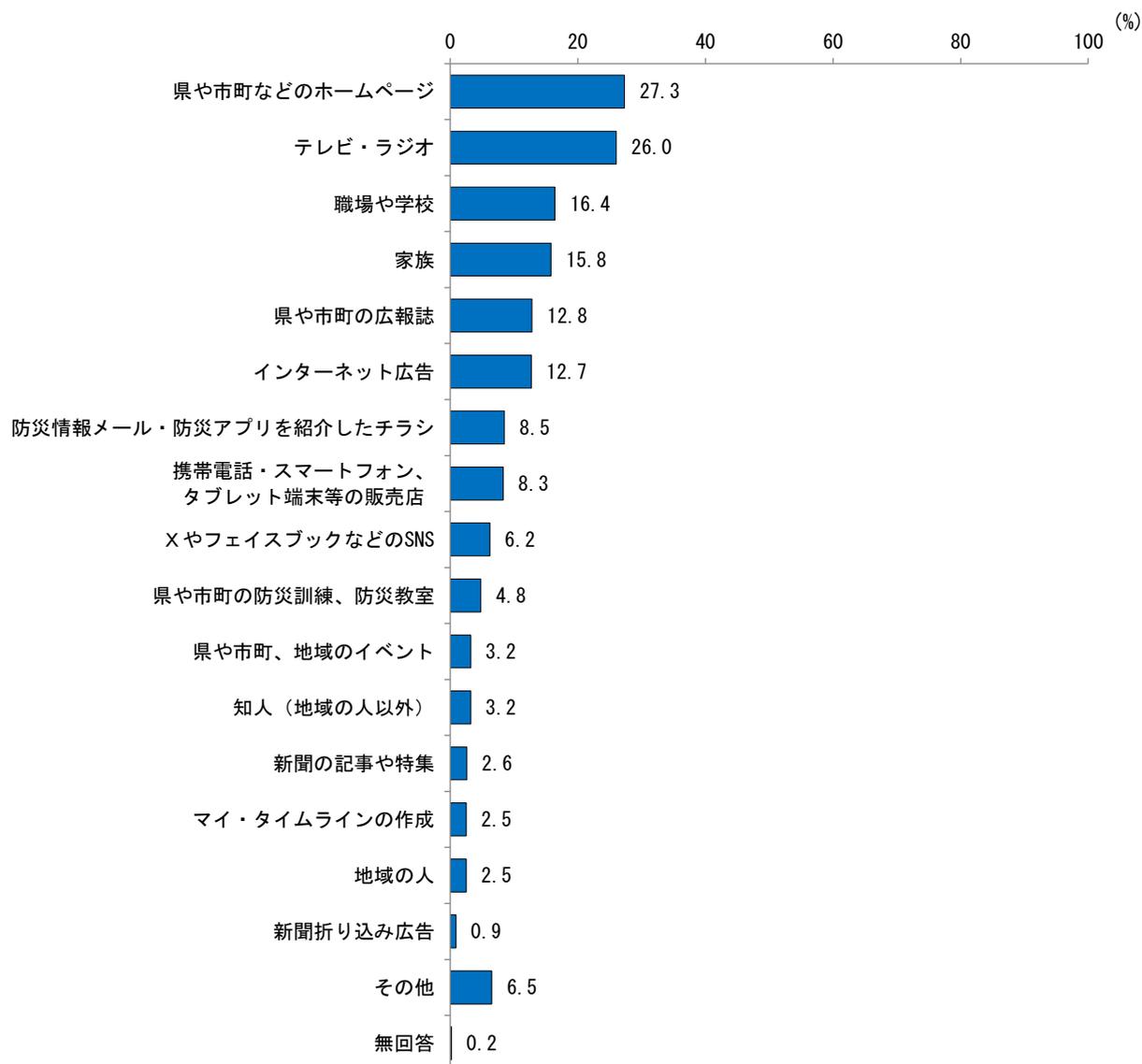
<災害リスク情報の入手ツールの確保「生活形態別」>



<防災メール・防災アプリを登録していない理由>



<防災情報メール・防災アプリなどを登録したきっかけ>



## ア 有識者による分析や示唆など

- 災害リスク情報を入手するためのツールを確保している人の割合について、全体として着実に増えている点が評価できる。
- 「防災メール・防災アプリを登録していない理由」を見ると、70歳代以上の65.3%が「登録方法が分からないから」を選択している。
- 「防災メール・防災アプリなどを登録したきっかけ」としては、「県や市町などのホームページ(27.3%)」や「テレビ・ラジオ(26.0%)」が多いが、自主防災組織の活動の中で登録の機会を設けるなど、地域での普及促進も必要である。

## イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

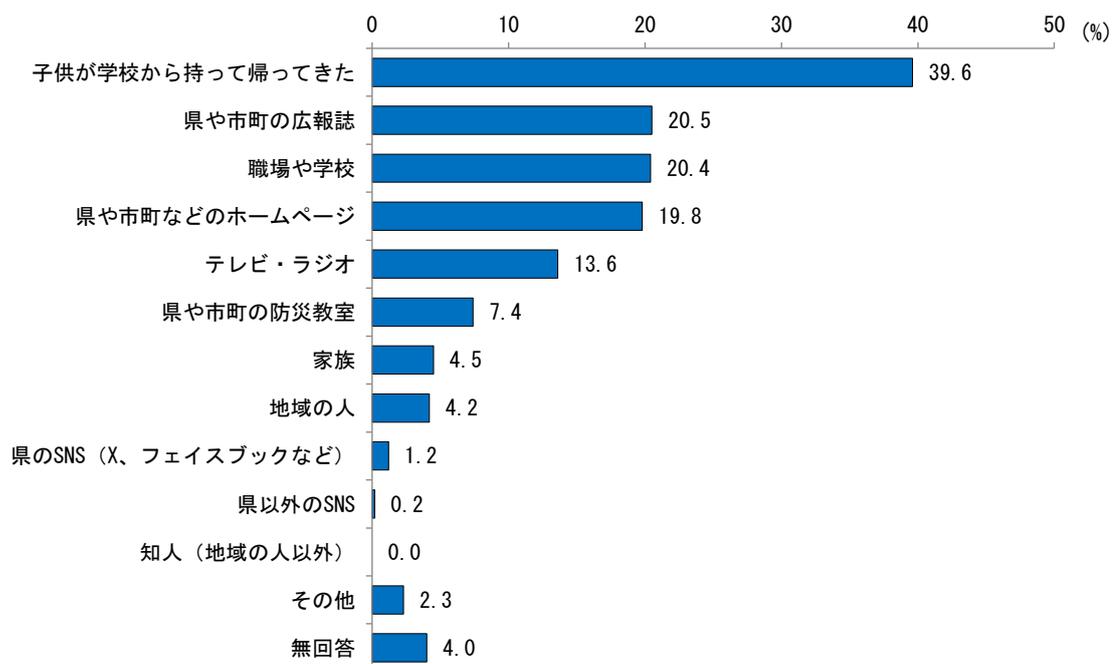
- 簡易にマイ・タイムラインを作成できることに加えて、災害の危険性が高まった際のプッシュ通知機能、さらに、スマートフォンの操作に慣れていない方には、家族・親族等が代理で作成できる機能も備えた「LINE版マイ・タイムライン」の普及を促進する。
- LINE版マイ・タイムラインの広報にあたっては、スマートフォンの操作に慣れていない方でも容易に作成できるよう、手順を分かりやすく示したチラシ等を配布する。
- ツールの確保を促進するため、引き続き、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議の構成団体等と連携し、テレビ・ラジオなどのマスメディアや、市町の広報誌、従業員への啓発等、様々な媒体を通じて広報する。
- ツールの確保が難しい高齢者等に対しては、引き続き自主防災組織による避難の呼びかけ体制の構築・実践に取り組む。さらに、「地域防災タイムライン」を活用し、呼びかけの実践とマイ・タイムライン作成を一体的に進めることにより、地域全体での適切な避難行動を促進する。

(4) 【個別指標】自ら判断して適切に「行動する」及び  
防災教室や防災訓練などで「学ぶ」

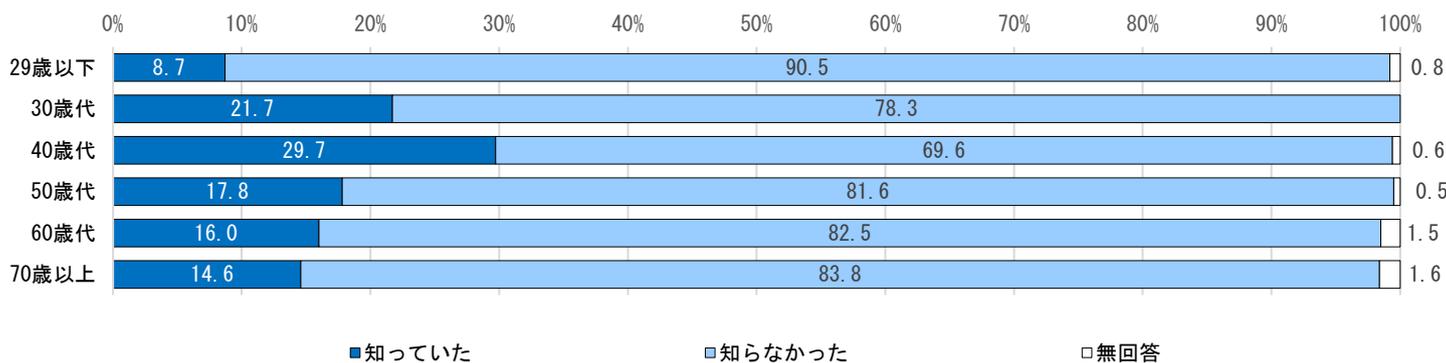
行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果		R6 (目標)	R7 (目標)
	R6 (2月)	R7 (2月)		
マイ・タイムラインを作成している人の割合	17.6%	<b>21.4%</b>	52.0%	60.0%
防災教室・防災訓練へ参加した人の割合	60.6%	<b>62.8%</b>	57.0%	60.0%

- マイ・タイムラインを知ったきっかけは、「子供が学校から持って帰ってきた (39.6%)」が最も高く、次いで「県や市町の広報誌 (20.5%)」となっている。
- マイ・タイムラインを作成していない理由として、「マイ・タイムラインを知らなかった (49.1%)」が最も高くなっている。
- 防災教室・防災訓練への参加割合として、生活形態別では「学生 (88.2%)」で高くなっており、「自営業 (50.4%)」で低くなっている。
- 防災教室・防災訓練へ参加しなかった理由として、「実施していることを知らなかったから (43.8%)」が最も多く、次いで「仕事や家事、育児で忙しかったから (27.6%)」となっている。

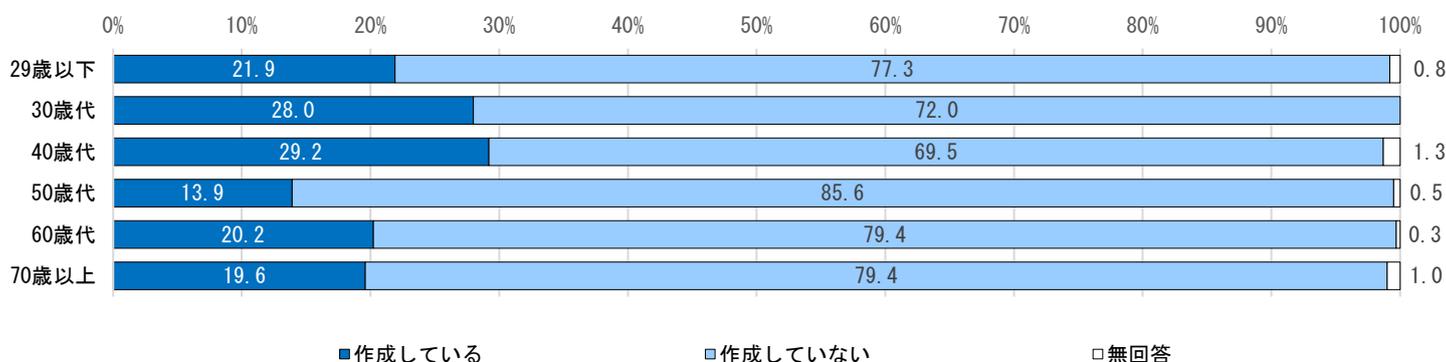
<「マイ・タイムライン」を知ったきっかけ>



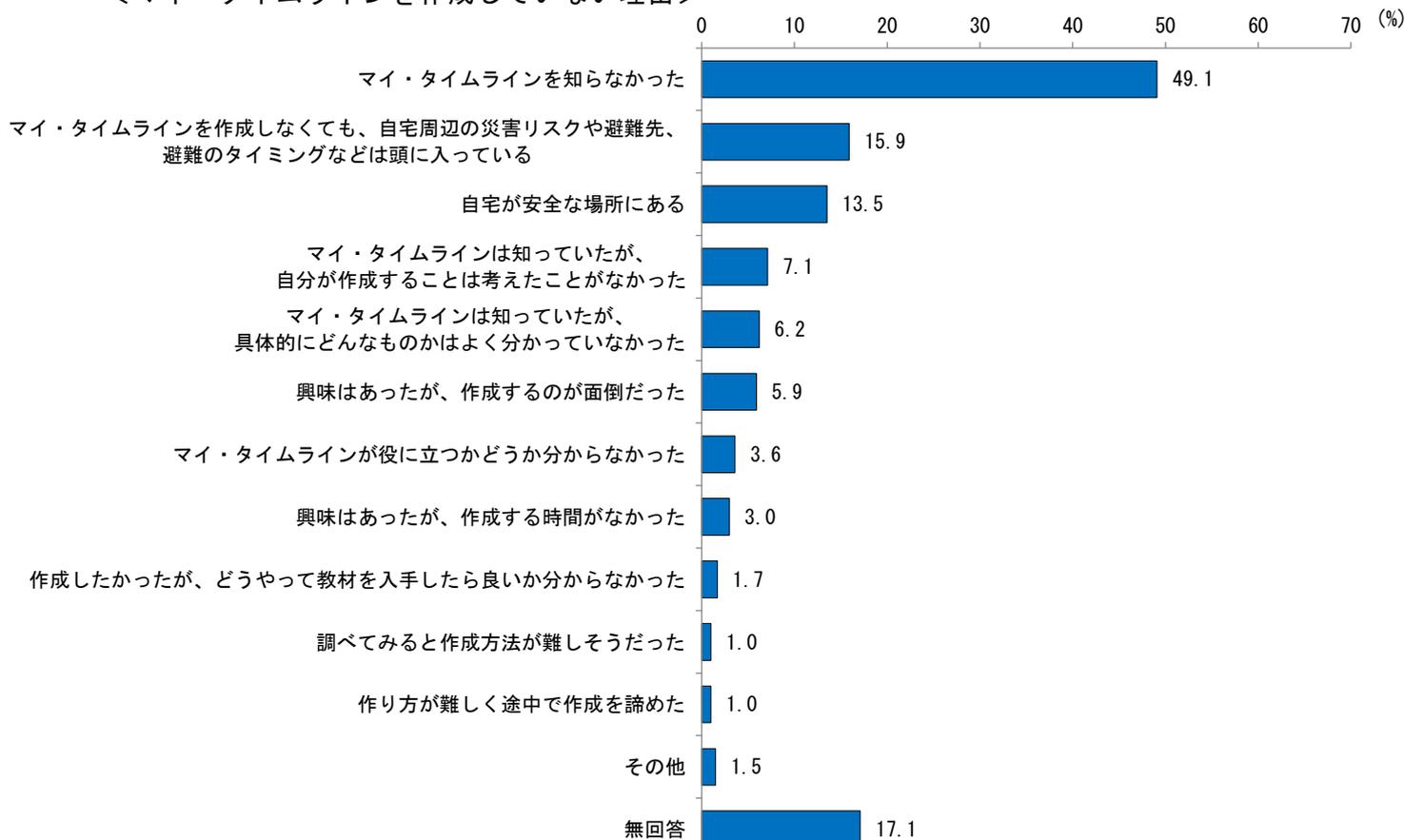
### <マイ・タイムラインの認知度「年代別」>



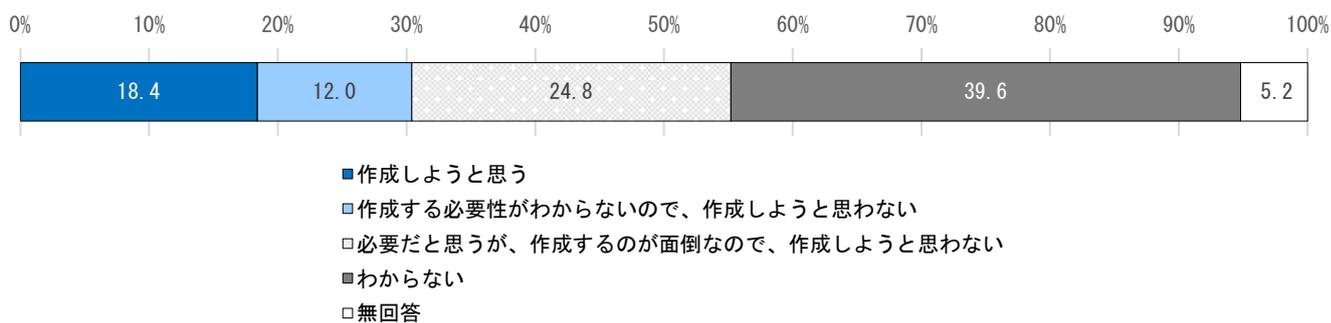
### <マイ・タイムライン作成の有無「年代別」>



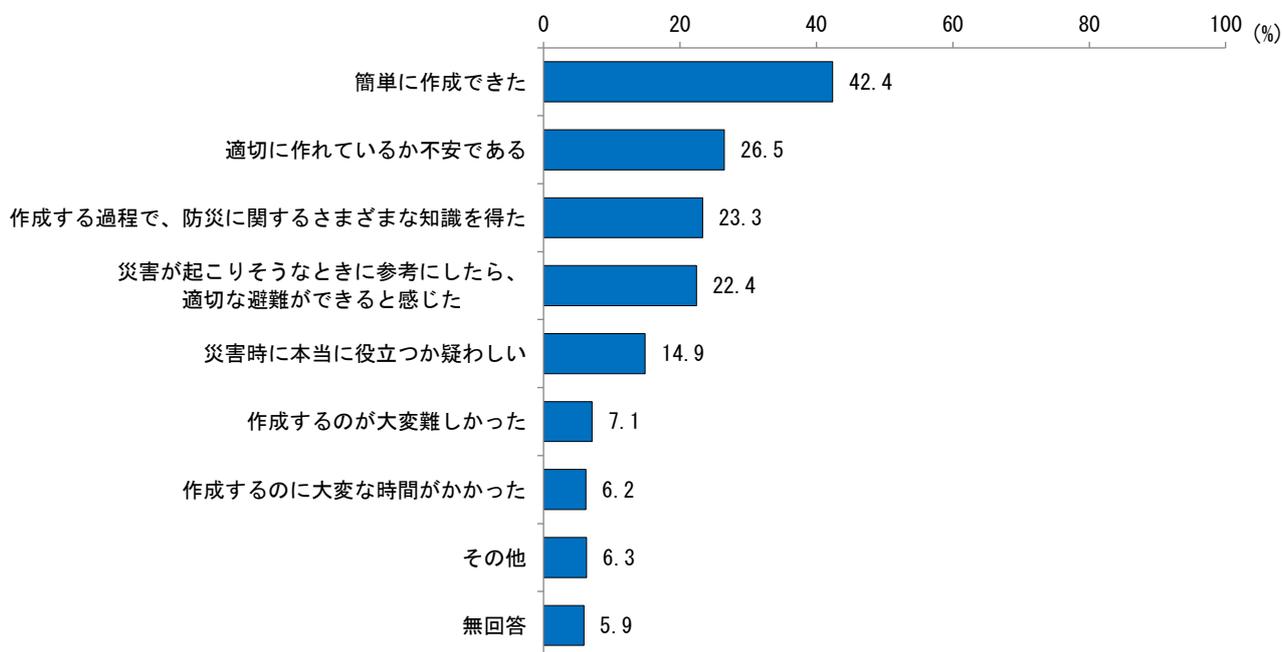
### <マイ・タイムラインを作成していない理由>



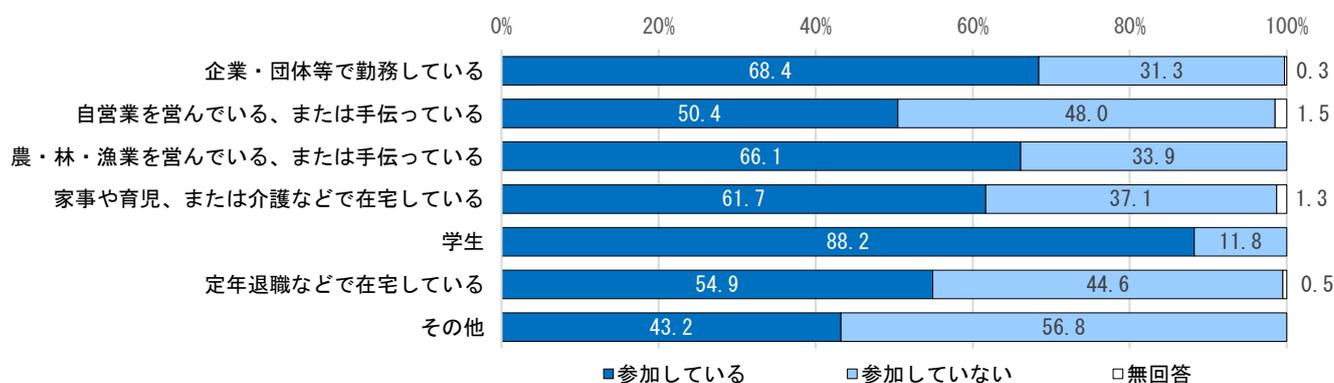
<これからマイ・タイムラインを作成しようと思うか>



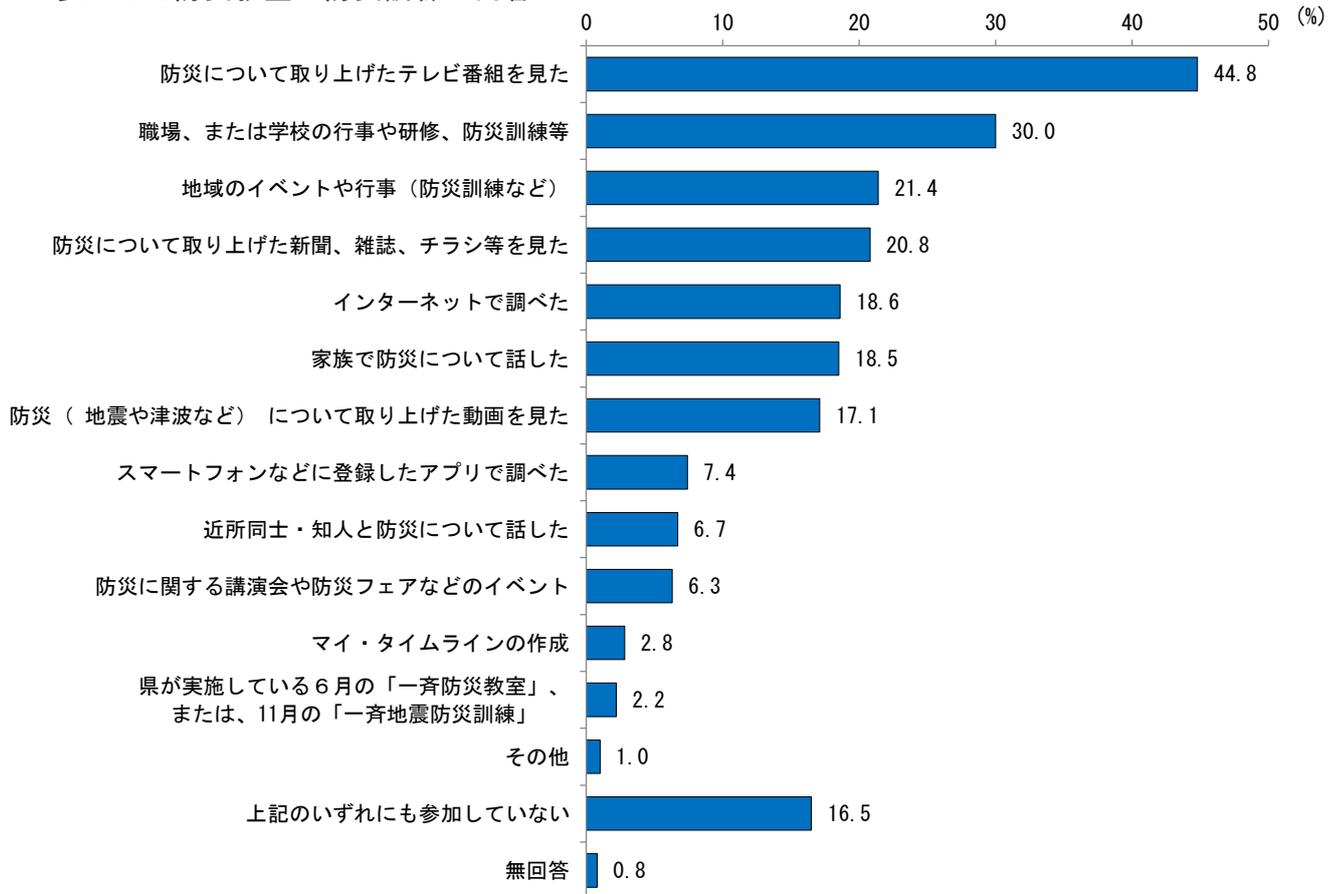
<マイ・タイムラインを作成してどう感じたか>



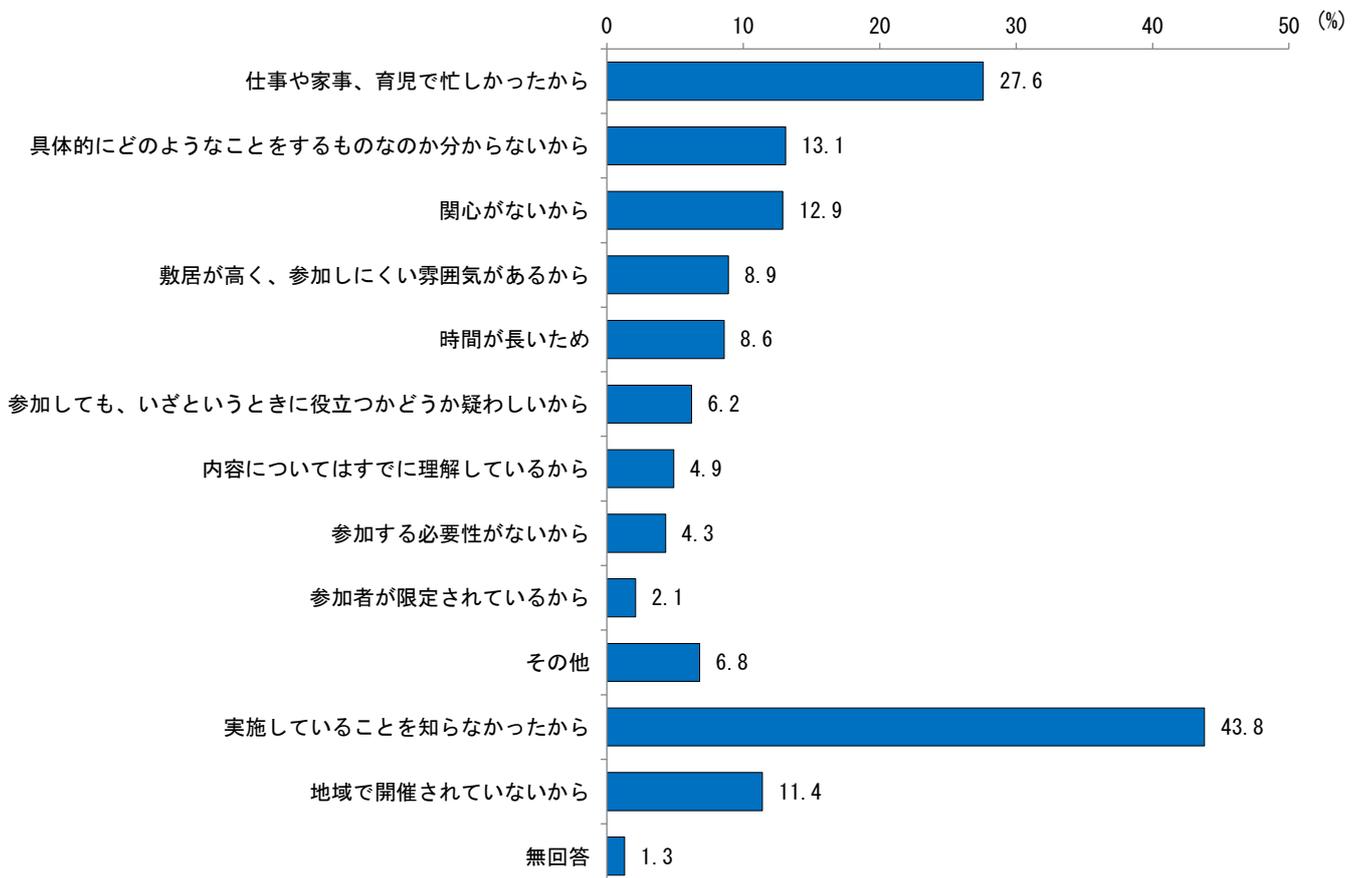
<防災教室・防災訓練への参加状況「生活形態別」>



<参加した防災教室・防災訓練の内容>



<防災教室・防災訓練に参加しなかった理由>



## ア 有識者による分析や示唆など

- 「マイ・タイムラインを作成しようとしたきっかけ」を見ると、「子供が学校から持って帰ってきた」が70.0%と最も多いが、次に多いのは「災害に関する報道を見て必要だと思ったから(18.4%)」であり、報道による効果も認められる。
- 前年度に引き続き、「これからマイ・タイムラインを作成しようと思う(18.4%)」が少なく、「作成しようと思わない(36.8%)」の方が多くことが問題である。作成者を増やすためには、マイ・タイムラインの認知度を高めるとともに、作成過程で防災に関する知識を得ることができるなどのメリットを周知することが必要である。
- マイ・タイムラインの作成を促進することは良いことであるが、マイ・タイムラインに記載されている内容に誤りがないか確認することや、実際に現場を歩いてみるなどの確認も重要である。
- 参加した防災教室・防災活動の内容としては、企業・団体等の勤務者や学生では「職場や学校での防災訓練等」が多く、農林漁業者や定年退職者では「地域のイベントや行事」「防災講演会やフェアなどのイベント」「新聞・雑誌・チラシ」など、地域で行われるイベントや、オンラインではない媒体の情報に触れているため、多様な手段による啓発が重要である。

## イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 引き続き、マイ・タイムラインを活用した小学校での出前講座に取り組むとともに、中学校向けの防災eラーニング教材の活用を促進する。
- 梅雨時期や台風時期など、県民の防災への関心が高まる時期を捉え、LINE版マイ・タイムラインの普及を進め、マイ・タイムラインの認知度向上と作成促進を図る。
- より正確な内容のマイ・タイムラインを作成できるよう、LINE版マイ・タイムラインでは、ユーザーの入力情報（住所、家族構成）に基づき、推奨する避難のタイミングや災害種別毎の避難場所を自動表示することとしている。また、作成後も、内容を見直すメッセージを通知することにより、定期的に災害リスクや避難場所の確認を促す。
- 企業や学校、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議の構成団体等に対して一斉防災教室・一斉地震防災訓練への参加を働きかけ、従業員や学生の参加を促進する。また、参加を働きかける際には、教材であるマイ・タイム

ラインの作成過程において、防災知識を得ることができるなどのメリットについても、併せて周知する。

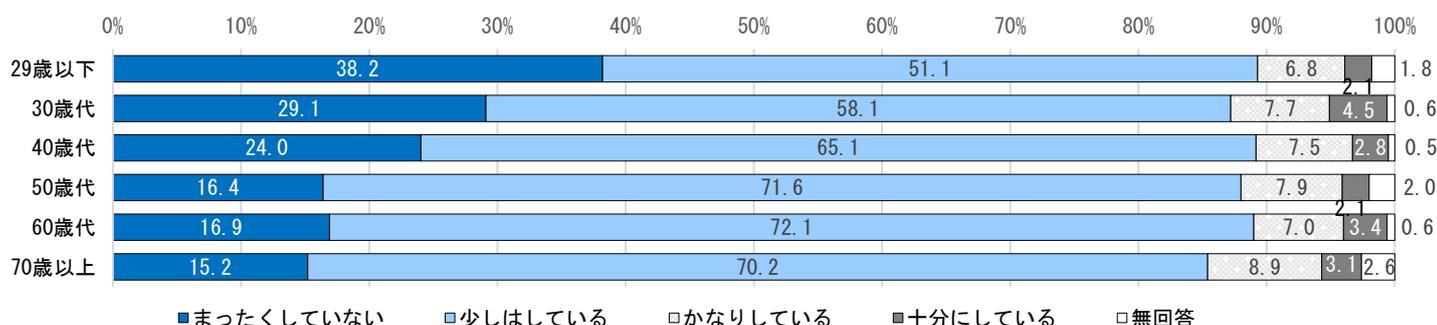
- 市町や自主防災組織、防災リーダー等と連携して、地域防災タイムラインを活用した避難訓練などの実践的な取組を実施し、災害リスクを確認できるツールとしてのマイ・タイムラインの活用を促すとともに、災害時の避難行動や避難場所・避難経路の確認を促進する。

(5) 【個別指標】非常持出品等を準備するなど災害に「備える」

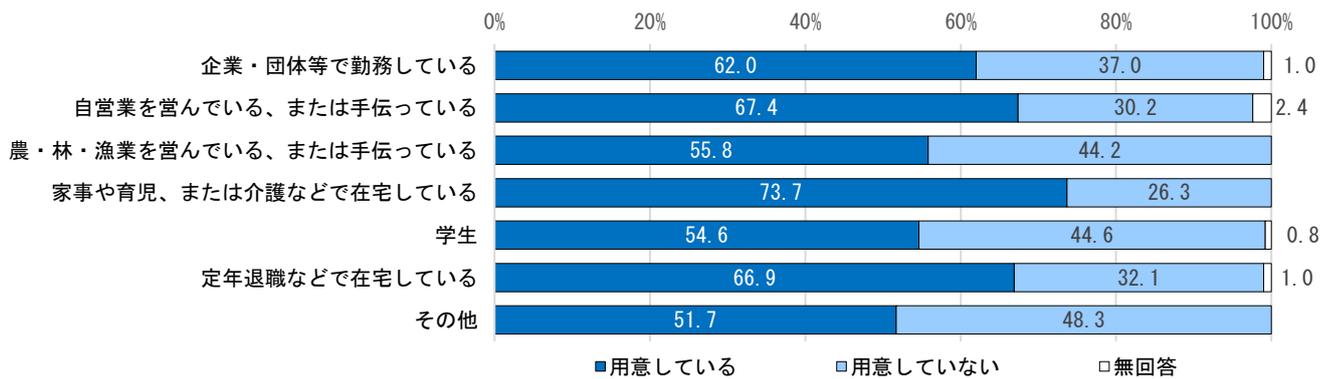
行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果		R6 (目標)	R7 (目標)
	R6 (2月)	R7 (2月)		
非常持出品を用意し、かつ3日以上以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合	60.3%	<b>63.4%</b>	66.9%	70.0%
家具等の転倒防止を行っている人の割合	64.7%	<b>65.7%</b>	66.4%	70.0%

- 非常持出品を用意している人の割合について、50歳代以上で8割超と高くなっている。
- 備蓄を行わない理由は、「何をどれくらい買っておけば良いか分からないから (32.6%)」が最も高く、次いで「買っていても消費期限が来たら、無駄になるから (28.5%)」となっている。
- 家具などの転倒防止を行っていない理由として、「倒れそうな家具等はあるが、倒れても支障がないところに置いてあるから (36.3%)」、「手間や費用がかかるから (26.9%)」で高くなっている。

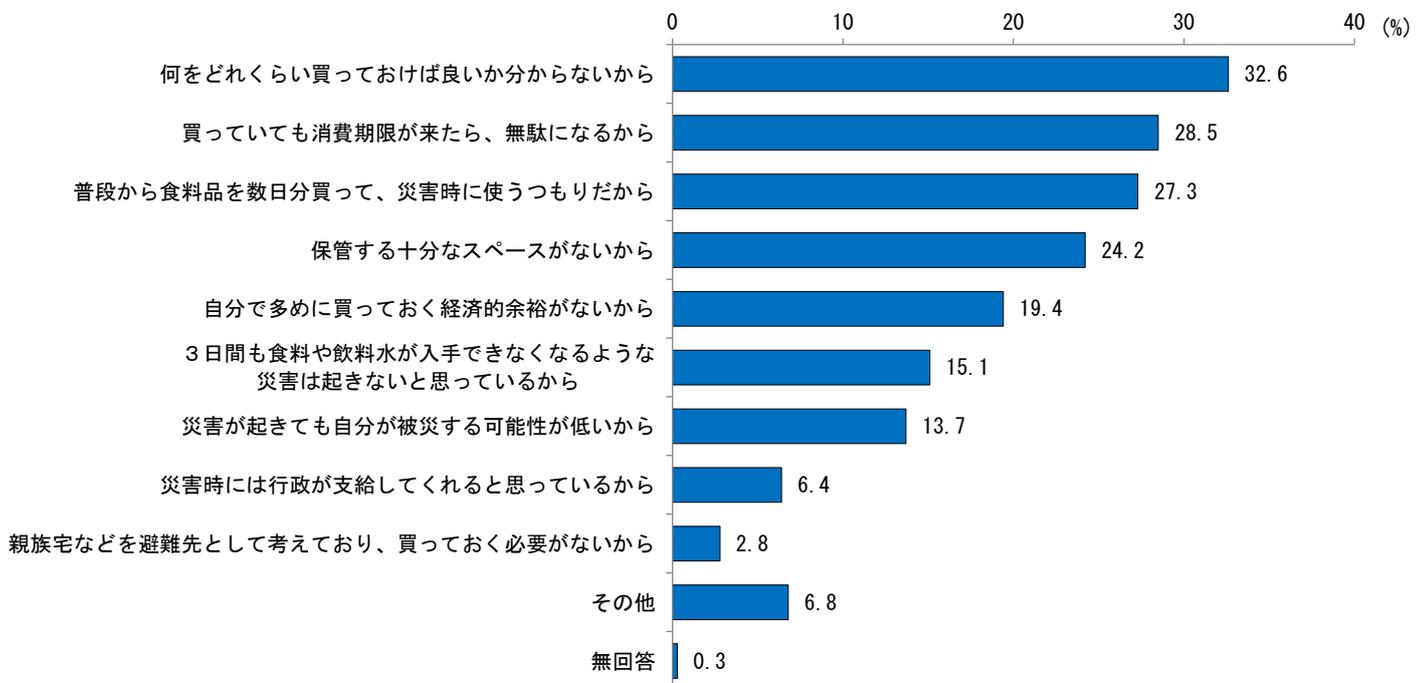
<非常持出品を用意している人の状況「年代別」>



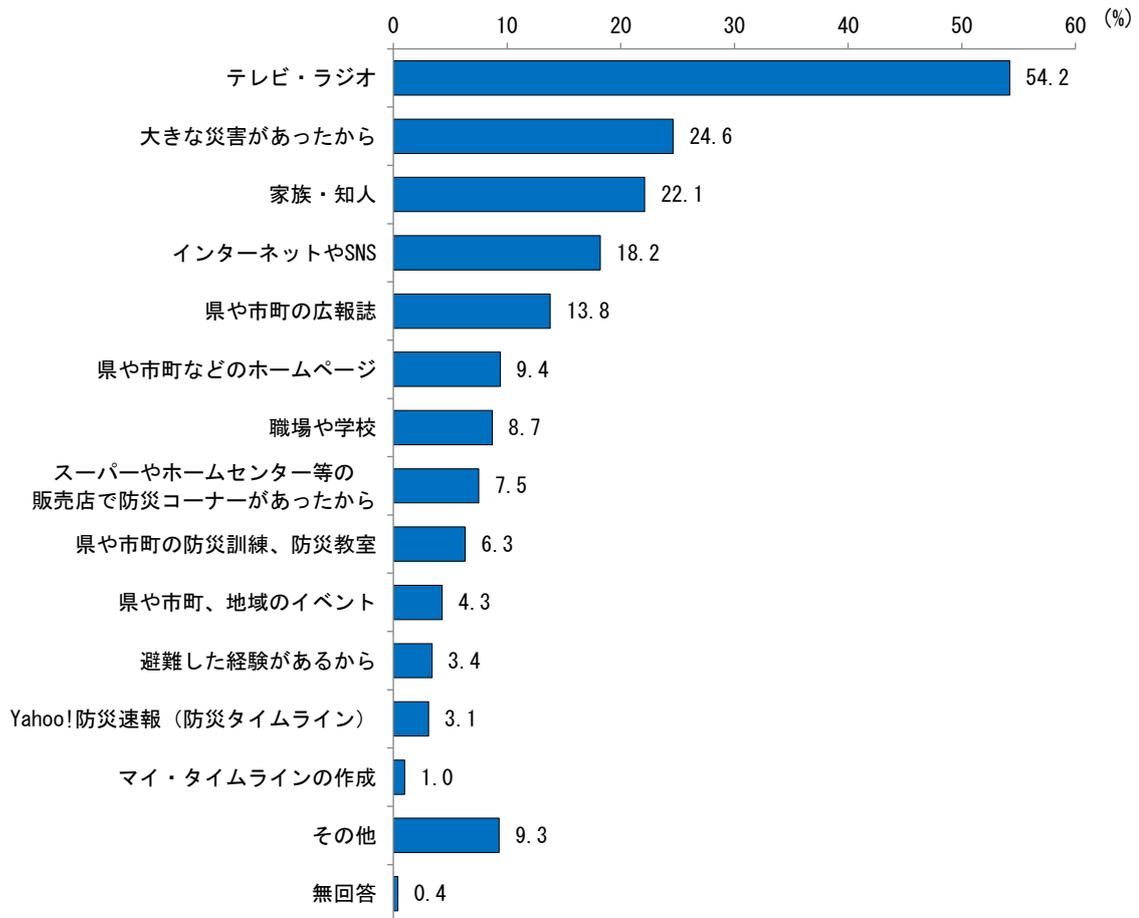
<非常持出品を準備し、かつ3日以上食料品等の備蓄を用意している人の割合「生活形態別」>



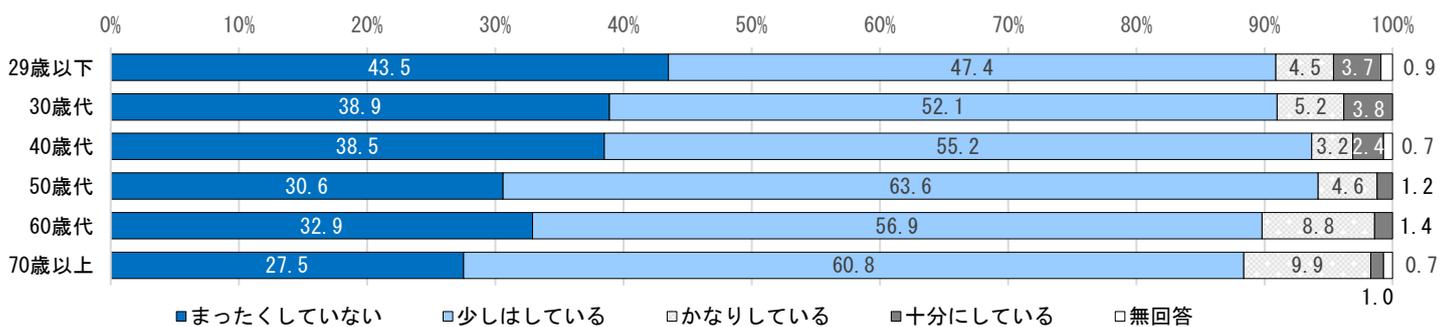
<備蓄を行わない理由>



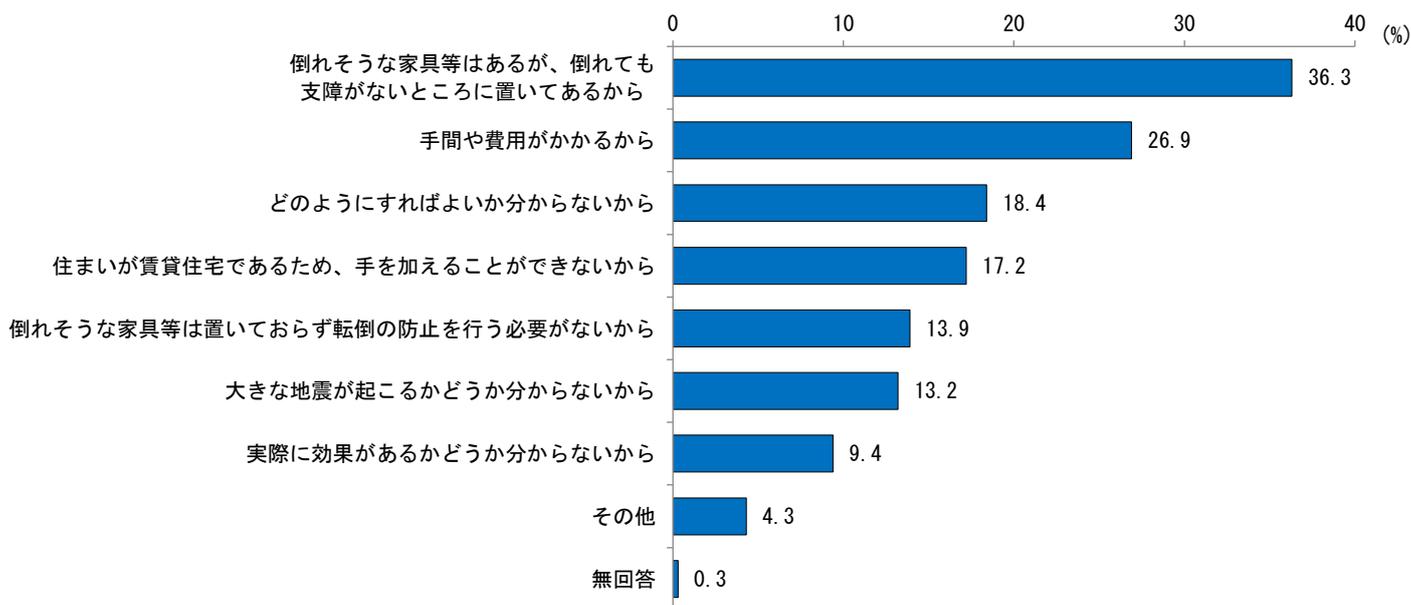
< 備蓄を行ったきっかけ >



< 家具などの転倒防止の実施状況「年代別」 >



### <家具などの転倒防止を行っていない理由>



### ア 有識者による分析や示唆など

- 非常持出品を用意し、3日分以上の食糧等を備蓄している人の割合が上昇している要因として、昨年発生した能登半島地震から断続的に報道される情報や、1年という節目での特集を見た結果、その必要性を感じた県民が多かったと考えられる。
- 「備蓄を行わない理由」としては「何をどれくらい買っておけば良いかわからない (32.6%)」が多いことから、スーパー等の店舗や公民館での生涯学習講座での発信といった伝える媒体も含め、普及についての工夫が必要である。
- 非常持出品について、避難先で災害関連死を防ぐための重要な持出品についての理解が及んでいるかが危惧される。持ち出す品目についても、引き続き啓発する必要がある。
- 家具等の転倒防止を行っている人の割合についても、少しずつ率が上がっている点は評価できる。
- 家具などの転倒防止を行っていない理由として最も多かった「手間や費用がかかるから」は、前年度の34.2%から26.9%に減少している。手間や費用をかけて転倒防止をする以前に、危険な場所に家具を置かないという方法で備える人が増えた可能性がある。

## イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 県民の防災への関心が高まる時期を捉え、時機を逃さずタイムリーに、あらゆる媒体を活用して非常持出品の用意や備蓄を呼びかける。
- 多くの県民が日常的に訪れるスーパー、ホームセンター、家電量販店などの協力を得て実施する「備えるフェア」において、ポスターやチラシ等により、非常持出品や家族構成に応じた備蓄例を具体的に示すなど、来店者等に対して、備えの必要性の啓発や、非常持出品、備蓄品、転倒防止対策商品の紹介を行う。また、「備えるフェア」の開催に合わせて、「みんなで減災」推進大使を活用したイベント等を開催し、非常持出品や備蓄品の備えを啓発する。
- ホームページや SNS 等により、引き続き、備蓄品のローリングストック法や具体的品目・量、商品の紹介などの情報発信に取り組む。
- 地震による被害を防ぐため、家具類を固定することに加えて、倒れて危険な場所に家具を置かないことや、家具が倒れても安全が確保できるように向きや配置を工夫することなどについても併せて啓発する。

## 防災・減災に関するアンケートへのご協力をお願い

日頃から県行政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の推進にあたり、防災・減災に関する県民の皆様の意識や行動内容及び情報の入手手段などの実態を把握して、今後の防災・減災対策に活かすため、概ね年に一度、防災・減災に関するアンケートを行うこととしております。

このアンケートは県内にお住まいの18歳以上の方5,000人を選挙人名簿から無作為に選んで行うものです。調査で得た結果はすべて統計的に処理をし、調査以外の目的では使用いたしませんので、皆様にご迷惑がかかることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、自然災害による死者ゼロの実現を目指し、この取組を今後、さらに効果的に進めていくため、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年1月

広島県危機管理監みんなで減災推進課

## ご記入にあたってのお願い

- 質問は、全部で約50問あります。ご本人(封筒の宛名の方)がお答えください。ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を確認いただき、ご家族の方等がご記入ください。
- 調査票や封筒にあなたのご住所、お名前を記入する必要はありません。
- アンケートの所要時間は15分程度です。
- ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をしてください。選択肢で「その他」を選択した場合は( )内に内容を具体的にご記入ください。
- 設問ごとに(○は1つ)(○はいくつでも)など指定されていますので、ご注意ください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印に従ってお進みください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**2月7日(金)**までに投函してください。返送先は調査の実施・集計を委託している株式会社サーベイリサーチセンターになります。

広島県危機管理監みんなで減災推進課

住所:〒730-8511 広島市中区基町10番52号

電話:082-513-2781

FAX:082-227-2122

Eメール:kikigensai@pref.hiroshima.lg.jp

## I あなたの災害に対する意識とご経験についてお尋ねします

【全員にお尋ねします。】

問1 あなたのお住まいの地域では、どのような災害の危険性が想定されているか知っていますか。  
(○は1つ)

1 知っている	→	問2～3へ
2 知りたいが知らない	}	問4へ
3 知らないし知る必要がない		

【問1で災害の危険性について「1 知っている」と回答した方にお尋ねします。】

問2 あなたのお住まいの地域の災害の危険性の有無をどのようなきっかけで知りましたか。  
(○はいくつでも)

1 自分でパソコンを使ったり、人に聞いたりして調べた
2 家族に聞いた(話し合った)
3 地域の方(個人、自主防災組織、消防団など)に教えてもらった
4 地域の住民ではない友人や知人に教えてもらった
5 市役所(町役場)の人に教えてもらった
6 職場で教えてもらった
7 学校で教えてもらった
8 マイ・タイムライン <sup>(※)</sup> を作成する過程で知った
9 地域のイベント(防災講演会や避難訓練など)に参加した
10 自ら災害を経験した
11 家族、親戚・知人が災害を経験した
12 その他( )

※ マイ・タイムライン:自宅周辺の災害リスクを確認し、避難のタイミングや避難先などを整理するツール

【問1で災害の危険性について「1 知っている」と回答した方にお尋ねします。】

問3 災害の危険性を確認した方法をお答えください。(〇はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1 ホームページなどで公開されているハザードマップ <sup>(※)</sup>                                      |
| 2 市町が紙に印刷して配布したハザードマップ <sup>(※)</sup>   |
| 3 県の防災Webや市町のホームページなどで公開している震度分布図、揺れやすさマップ、土砂災害警戒区域図・特別警戒区域図、洪水・高潮・津波浸水想定区域図等 |
| 4 地域住民が独自に作成した防災マップ   |
| 5 Yahoo!防災速報アプリ(防災タイムライン)   |
| 6 地域防災タイムライン  |
| 7 地域のイベント(防災講演会や避難訓練など)に参加した  |
| 8 実際に地域を歩いてみた   |
| 9 その他( )  |

※ハザードマップ:自然災害(地震・津波・洪水・土砂災害等)による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被害想定区域や避難場所などを表示した市町が作成する地図

※地域防災タイムライン:個人の避難行動に関する内容(災害リスクの確認など)と災害時の地域住民相互での声掛けに関する内容(声掛け先など)を一体的に備えるツール

【全員にお尋ねします。】

問4 あなたは災害に対して不安を感じていますか。各項目について該当する番号1つを〇で囲んでください。(①～③各項目で〇は1つ)

	まったく 感じていない	少しは 感じている	とても 感じている
① 大雨	1	2	3
② 台風・強風	1	2	3
③ 地震・津波	1	2	3

【問4の①～③で1つでも「2 少しは感じている」、「3 とても感じている」を選んだ方にお尋ねします。】

問5 あなたは、大雨、台風・強風、地震・津波に対して、どのような不安を感じていますか。

「大雨」、「台風・強風」、「地震・津波」で各3つまで選んでください。(○は各3つまで)

<大雨>

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 自宅周辺の土砂災害のおそれ | 5 けがなどの自身の被害  |
| 2 自宅周辺の河川氾濫のおそれ | 6 家族、親族、知人の被害 |
| 3 ライフライン途絶      | 7 自宅の被害       |
| 4 交通機関の運休       | 8 不安に感じたことはない |

<台風・強風>

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 自宅周辺の土砂災害のおそれ | 6 家族、親族、知人の被害 |
| 2 自宅周辺の河川氾濫のおそれ | 7 自宅の窓や壁への被害  |
| 3 ライフライン途絶      | 8 自宅の屋根への被害   |
| 4 交通機関の運休       | 9 不安に感じたことはない |
| 5 けがなどの自身の被害    |               |

<地震・津波>

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 自宅周辺の津波のおそれ   | 6 けがなどの自身の被害  |
| 2 自宅周辺の土砂災害のおそれ | 7 家族、親族、知人の被害 |
| 3 自宅周辺の液状化のおそれ  | 8 自宅の被害       |
| 4 ライフライン途絶      | 9 不安に感じたことはない |
| 5 交通機関の運休       |               |

【全員にお尋ねします。】

問6 県や気象台が発表する次の防災気象情報について、知っている、あるいは聞いたことがあるものに○をしてください。(○はいくつでも)

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 洪水警報       | 5 土砂災害警戒情報     |
| 2 ○○川氾濫危険情報  | 6 大雨特別警報(土砂災害) |
| 3 ○○川氾濫発生情報  | 7 いずれも聞いたことがない |
| 4 大雨警報(土砂災害) |                |

問7 あなたは、事前に避難のタイミングを決めていますか。(○は1つ)

- 1 高齢者等避難、避難指示などの避難情報が発令された時に避難することを決めている
- 2 大雨注意報、大雨警報などの気象情報が発表された時に避難することを決めている
- 3 水位などの周辺の状況で避難することを決めている
- 4 その他( )
- 5 避難するタイミングを決めていない

【問7で1～4(避難するタイミングを決めている)のいずれかを回答した方にお尋ねします。】

問8 避難のタイミングを決めたきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 自ら災害を経験した
- 2 家族、親戚・知人が災害を経験した
- 3 自ら災害を経験していないが、災害に関する報道を見て避難のタイミングを決めることが必要と感じた
- 4 マイ・タイムラインを作成した
- 5 地域のイベント(防災講演会や避難訓練など)に参加した
- 6 学校で防災について学習した
- 7 職場で防災について話があった
- 8 地域の方(個人・自主防災組織・消防団)から話があった
- 9 その他( )

【全員にお尋ねします。】

問9 あなたは、実際に災害のおそれがあった際に、家族や親戚、近所の人や知人等に避難を促す声掛け(電話やメール、LINE での連絡も含む)を行ったことがありますか。(○は1つ)

- 1 災害のおそれがある際には、毎回避難の声掛けを行っている
- 2 毎回ではないが、避難の声掛けを行ったことがある
- 3 これまで、避難の声掛けを行ったことがない

問 10 あなたは、災害のおそれがある際に、誰に避難の声掛け(電話やメール、LINE での連絡も含む)を行うかを決めていますか。(○は1つ)

- 1 決めている
- 2 決めていない

## Ⅱ あなたの災害に対する備えや災害時の行動についてお尋ねします

【全員にお尋ねします。】

問1 あなたがお住まいの地域は、水害・土砂災害の危険性がありますか。お住まいが該当する区域に立地するかお答えください。(①、②各項目で○は1つ)

	自宅が区域に立地している	自宅は区域に立地していない	分からない
① 洪水浸水想定区域	1	2	3
② 土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域	1	2	3

【問1で②土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に「1 自宅が区域に立地している」と回答した方にお尋ねします。】

問1-1 あなたがお住まいの地域は土砂災害警戒区域(イエローゾーン)か土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)のどちらですか。(○は1つ)

- 1 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
- 2 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 3 どちらに該当するか分からない

【全員にお尋ねします。】

問2 あなたは、災害の危険性(土砂災害や洪水)に応じた避難先や避難経路の確認をしたことがありますか。(○は1つ)

- |              |   |       |
|--------------|---|-------|
| 1 したことがない    | → | 問2-1へ |
| 2 少ししたことがある  | } | 問2-2へ |
| 3 かなりしたことがある |   |       |
| 4 十分にしたことがある |   |       |

【問2で「1 したことがない」と回答した方にお尋ねします。】

問2-1 確認したことがないのはなぜですか。(○は1つ)

- 1 自宅のすぐ近くに避難場所があるから
- 2 マンションなどの高層に住んでいるので(浸水時には)安全確保ができるから
- 3 自宅に災害の危険性がないから
- 4 確認する方法が分からないから
- 5 その他( )

【問2で「2 少ししたことがある」「3 かなりしたことがある」「4 十分にしたことがある」と回答した方にお尋ねします。】

問2-2 「避難先や避難経路」をどのような方法で確認しましたか。(○はいくつでも)

- 1 市町が配布したハザードマップ
- 2 県のホームページや国や市町などのホームページ
- 3 スマートフォンなどに登録したアプリ(Yahoo!防災速報アプリ)
- 4 スマートフォンなどに登録したアプリ(ひろしま避難誘導アプリ「避難所へ Go!」)
- 5 スマートフォンなどに登録したアプリ(その他のアプリ)
- 6 地域住民が独自に作成した防災マップ
- 7 地域の方(個人、自主防災組織、消防団など)から教えてもらった
- 8 市役所(町役場)の人から聞いた
- 9 地域防災タイムライン
- 10 地域の行事、イベント(防災講演会や避難訓練など)
- 11 実際に地域を歩いてみた
- 12 その他( )

【全員にお尋ねします。】

問3 あなたは、災害のおそれがある際や地域行事等の際に、市町が指定する避難場所に行ったことがありますか。(○はいくつでも)

- 1 災害のおそれがある際に、市町が指定する避難場所に避難したことがある
- 2 地域行事(お祭り、運動会、避難訓練等)の際に、市町が指定する避難場所となる施設に行ったことがある
- 3 市町が指定する避難場所に行ったことがない

問4 あなたは、避難先を2か所以上決めていますか。また、避難先までの避難経路の確認を行っていますか。なお、避難先は、市町が指定している避難場所でなくとも、安全な場所(親族・知人宅、宿泊施設など)であれば構いません。(○は1つ)

- 1 2か所以上決めており、どの道を通るか確認も行っている
- 2 2か所以上決めているが、どの道を通るか確認は行っていない
- 3 1か所だけ決めている
- 4 まったく決めていない

問5 災害が起こりそうな場合に、気象情報(大雨警報など)、避難情報などの防災情報をどのような方法で入手していますか。(○はいくつでも)

- 1 テレビ
- 2 テレビのデータ放送
- 3 ラジオ
- 4 インターネット(気象庁やNHKのホームページなど)
- 5 県や市町の防災情報メール
- 6 スマートフォンなどに登録したアプリ(県や市町のアプリ)
- 7 市町の防災無線
- 8 スマートフォンなどに登録したアプリ(Yahoo!防災速報アプリなど民間のアプリ)
- 9 X(旧ツイッター)やフェイスブックなどの SNS
- 10 町内の人や消防団等からの連絡
- 11 固定電話向けの一斉電話伝達サービス
- 12 その他( )
- 13 入手していない

【問5で「4 インターネット」と回答した方にお尋ねします。】

問5-1 防災情報をインターネットで入手する際、次のサイト等を利用したことはありますか。

(○はいくつでも)

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1 広島県防災 Web     | 5 広島県ため池マップ           |
| 2 広島県河川防災情報システム | 6 Yahoo!大雨警戒レベルマップ    |
| 3 土砂災害ポータルひろしま  | 7 上記以外のサイト等を利用したことがある |
| 4 津波・高潮災害ポータル   |                       |

【全員にお尋ねします。】

問6 あなたは、携帯電話・スマートフォンまたはタブレット端末を持っていますか。(○は1つ)

- 1 スマートフォンまたはタブレット端末を持っている
- 2 携帯電話を持っており、メール機能も使用している
- 3 携帯電話を持っているが、メール機能は使用していない
- 4 いずれも持っていない

問7 あなたは、防災情報メールや防災アプリ(Yahoo!防災速報アプリ、NHK ニュース・防災アプリ等)などの登録を行っていますか。(○は1つ)

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1 登録している  | → 問7-1へ |
| 2 登録していない | → 問7-2へ |

【問7で「1 登録している」と回答した方にお尋ねします。】

問7-1 防災情報メール、防災アプリなどを登録した理由、きっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| 1 県や市町などのホームページ         | 10 マイ・タイムラインの作成              |
| 2 テレビ・ラジオ               | 11 県や市町の防災訓練、防災教室            |
| 3 県や市町の広報誌              | 12 職場や学校                     |
| 4 新聞の記事や特集              | 13 家族                        |
| 5 新聞折り込み広告              | 14 地域の人                      |
| 6 防災情報メール・防災アプリを紹介したチラシ | 15 知人(地域の人以外)                |
| 7 インターネット広告             | 16 携帯電話・スマートフォン、タブレット端末等の販売店 |
| 8 XやフェイスブックなどのSNS       | 17 その他( )                    |
| 9 県や市町、地域のイベント          |                              |

【問7で「2 登録していない」と回答した方にお尋ねします。】

問7-2 登録していない理由は何ですか。(○は3つまで)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 登録方法が分からないから              |
| 2 登録方法が複雑で面倒だから             |
| 3 住んでいる場所が安全なため登録する必要性がないから |
| 4 防災に関心がないから                |
| 5 通知の回数が多すぎるから              |
| 6 防災以外に役立つ情報が少ないから          |
| 7 通信料がかかるから                 |
| 8 その他( )                    |

【全員にお尋ねします。】

問8 あなたは現在、3日以上以上の食料や飲料水を買置き(備蓄)していますか。(○は1つ)

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1 まったくしていない | → 問8-1へ |
| 2 少しはしている   | } 問8-2へ |
| 3 かなりしている   |         |
| 4 十分にしている   |         |

【問8で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問8-1 買置きをしていないのは、なぜですか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1 親族宅などを避難先として考えており、買っておく必要がないから        |
| 2 普段から食料品を数日分買って、災害時に使うつもりだから           |
| 3 自分で多めに買っておく経済的余裕がないから                 |
| 4 何をどれくらい買っておけば良いか分からないから               |
| 5 災害が起きても自分が被災する可能性が低いから                |
| 6 買っても消費期限が来たら、無駄になるから                  |
| 7 保管する十分なスペースがないから                      |
| 8 3日間も食料や飲料水が入手できなくなるような災害は起きないと思っているから |
| 9 災害時には行政が支給してくれると思っているから               |
| 10 その他( )                               |

【問8で「2 少しはしている」「3 かなりしている」「4 十分にしている」と回答した方にお尋ねします。】

問8-2 「3日以上以上の食料や飲料水の買置き」を行ったきっかけは、なんですか。(○はいくつでも)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 県や市町などのホームページ                   |
| 2 テレビ・ラジオ                         |
| 3 県や市町の広報誌                        |
| 4 インターネットや SNS                    |
| 5 県や市町、地域のイベント                    |
| 6 県や市町の防災訓練、防災教室                  |
| 7 マイ・タイムラインの作成                    |
| 8 Yahoo!防災速報(防災タイムライン)            |
| 9 職場や学校                           |
| 10 家族・知人                          |
| 11 スーパーやホームセンター等の販売店で防災コーナーがあったから |
| 12 避難した経験があるから                    |
| 13 大きな災害があったから                    |
| 14 その他( )                         |

【全員にお尋ねします。】

問9 あなたは、現在、食料と飲料水以外の防災グッズ(懐中電灯、携帯・スマホの充電器など<sup>(※)</sup>)の準備を行っていますか。(○は1つ)

※これらは例示なので、あなたご自身や、あなたのご家族が必要とする防災グッズを準備している場合は「している」(2~4のいずれか)を選択してください。

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1 まったくしていない | → 問9-1へ |
| 2 少しはしている   | } 問10へ  |
| 3 かなりしている   |         |
| 4 十分にしている   |         |

【問9で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問9-1 準備をしていないのは、なぜですか。(○はいくつでも)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 親族宅などを避難先として考えており、準備する必要がないから |
| 2 自分で準備する経済的余裕がないから             |
| 3 何をどれくらい備えればよいか分からないから         |
| 4 災害が起きても自分が被災する可能性が低いから        |
| 5 備えていても使用期限が来たら、無駄になるから        |
| 6 保管する十分なスペースがないから              |
| 7 物資を入手できなくなるような災害は起きないと思っているから |
| 8 災害時には行政が支給してくれると思っているから       |
| 9 その他( )                        |

【全員にお尋ねします。】

問 10 あなたが、防災について学んだり、地域、職場、あるいは学校で、防災教室や防災訓練、イベント等に参加した内容をお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 地域のイベントや行事(防災訓練など)
- 2 職場、または学校の行事や研修、防災訓練等
- 3 県が実施している6月の「一斉防災教室<sup>※1</sup>」、または、11月の「一斉地震防災訓練<sup>※2</sup>」
- 4 マイ・タイムラインの作成
- 5 防災に関する講演会や防災フェアなどのイベント
- 6 防災(地震や津波など)について取り上げた動画を見た
- 7 防災について取り上げたテレビ番組を見た
- 8 防災について取り上げた新聞、雑誌、チラシ等を見た
- 9 インターネットで調べた
- 10 スマートフォンなどに登録したアプリで調べた
- 11 近所同士・知人と防災について話した
- 12 家族で防災について話した
- 13 その他( )
- 14 上記のいずれにも参加していない → 問10-1へ

※1 一斉防災教室:県が作成した教材をもとに災害危険箇所、避難場所及び避難経路の確認や状況に応じた避難行動などを身につけていただくため、昨年5~6月にかけて行った取組

※2 一斉地震防災訓練:県が作成した教材をもとに、昨年11月に行った、地震から命を守るための行動をとる訓練

【問10で「14 上記のいずれにも参加していない」と回答した方にお尋ねします。】

問 10-1 防災教室や防災訓練、イベント等に参加されなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)

- 1 時間が長いため
- 2 内容についてはすでに理解しているから
- 3 敷居が高く、参加しにくい雰囲気があるから
- 4 参加する必要性がないから
- 5 関心がないから
- 6 具体的にどのようなことをするものなのか分からないから
- 7 参加者が限定されているから
- 8 参加しても、いざというときに役立つかどうか疑わしいから
- 9 仕事や家事、育児で忙しかったから
- 10 その他( )
- 11 実施していることを知らなかったから
- 12 地域で開催されていないから

「マイ・タイムライン」(災害があった時の行動計画)は、自宅周辺の災害リスクを確認し、避難のタイミングや避難先などを整理するツールです。

※同種のものであれば「マイ・タイムライン」という名称でなくてもよいです。

(例)広島市「たちまち防災」の付録「わが家の避難シート」

福山市水害ハザードマップの情報面「わが家のマイ・タイムライン」など

【全員にお尋ねします。】

問 11 あなたは、「マイ・タイムライン」(災害があった時の行動計画)を知っていましたか。(○は1つ)

- |          |   |        |
|----------|---|--------|
| 1 知っていた  | → | 問 12 へ |
| 2 知らなかった | → | 問 13 へ |

【問 11 でマイ・タイムラインを「1 知っていた」と回答した方にお尋ねします。】

問 12 あなたが知っていた「マイ・タイムライン」は何ですか。(○はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版)        |
| 2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版)      |
| 3 Yahoo!防災速報アプリの防災タイムライン    |
| 4 地域防災タイムライン                |
| 5 LINE 版マイ・タイムライン(わが家の避難計画) |
| 6 その他( )                    |

【問 12 で「1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版)」「2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版)」と回答した方にお尋ねします。】

問 12-1 「ひろしまマイ・タイムライン」をどこで知りましたか。(○はいくつでも)

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1 県や市町などのホームページ       | 7 子供が学校から持って帰ってきた |
| 2 テレビ・ラジオ             | 8 職場や学校           |
| 3 県や市町の広報誌            | 9 家族              |
| 4 県や市町の防災教室           | 10 地域の人           |
| 5 県の SNS(X、フェイスブックなど) | 11 知人(地域の人以外)     |
| 6 県以外の SNS            | 12 その他( )         |

【問 12 で「3 Yahoo!防災速報アプリの防災タイムライン」と回答した方にお尋ねします。】

問 12-2 「防災タイムライン」をどこで知りましたか。(〇はいくつでも)

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| 1 県や市町などのホームページ          | 8 県以外の SNS    |
| 2 テレビ・ラジオ                | 9 職場や学校       |
| 3 インターネット広告(ヤフー、グーグルなど)  | 10 家族         |
| 4 新聞の記事や特集               | 11 地域の人       |
| 5 新聞折り込みチラシ              | 12 知人(地域の人以外) |
| 6 防災タイムラインの作成方法が記載されたチラシ | 13 その他( )     |
| 7 県の SNS(X、フェイスブックなど)    |               |

【全員にお尋ねします】

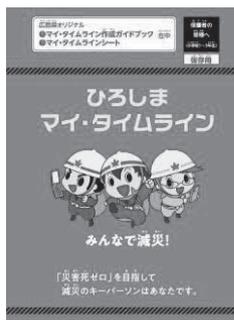
問 13 あなたのご家庭では、マイ・タイムライン(災害があった時の行動計画)を作成していますか。  
 「マイ・タイムライン」という名称でなくても自宅周辺の災害リスクの確認、避難のタイミング、  
 避難場所などを確認したことがある方は、「1 作成している」を選択してください。(〇は1つ)  
 ※あなたご自身でなくても、同居しているご家族のどなたかが作成している場合は「作成して  
 いる」とお答えください。

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1 作成している  | → 問 13-1へ    |
| 2 作成していない | → 問 14~14-1へ |

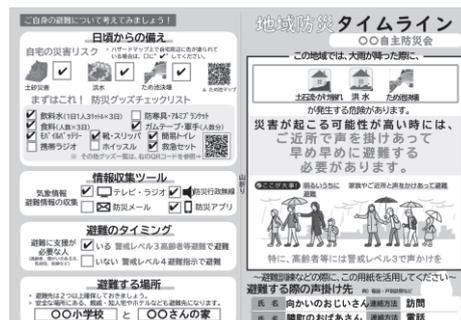
【問 13 でマイ・タイムラインを「1 作成している」と回答した方にお尋ねします。】

問 13-1 あなたが作成した「マイ・タイムライン」は何ですか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版)                               |
| 2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版)                             |
| 3 Yahoo!防災速報アプリの防災タイムライン                           |
| 4 地域防災タイムライン                                       |
| 5 LINE 版マイ・タイムライン(わが家の避難計画) ※家族などに代わりに作ってもらった人も含む。 |
| 6 上記以外で自宅周辺の災害リスク、避難のタイミング、避難場所を確認している             |
| 7 その他( ) ※例:家族で話し合った など                            |



【ひろしまマイ・タイムライン】



【地域防災タイムライン】

【問 13-1で「1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版)」「2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版)」と回答した方にお尋ねします。】

問 13-2 あなたが「ひろしまマイ・タイムライン」を作成しようと思ったきっかけは何ですか。

(○はいくつでも)

- 1 子供が学校から持って帰ってきたから、または子供が作りたいと言ったから
- 2 もともとマイ・タイムラインに関心があったから
- 3 防災教室や防災講演会などで作ることを勧められたから
- 4 広島県が作成を推奨していることを知ったから
- 5 人から作成することを誘われたから
- 6 災害に関する報道を見て必要だと思ったから
- 7 引っ越しなどで環境が変わったから
- 8 その他( )

【問 13-1で「1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版)」「2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版)」と回答した方にお尋ねします。】

問 13-3 「ひろしまマイ・タイムライン」を作成してどう感じましたか。(○はいくつでも)

- 1 簡単に作成できた
- 2 作成するのが大変難しかった
- 3 作成するのに大変な時間がかかった
- 4 災害が起こりそうなときに参考にしたら、適切な避難ができると感じた
- 5 作成する過程で、防災に関するさまざまな知識を得た
- 6 適切に作れているか不安である
- 7 災害時に本当に役立つか疑わしい
- 8 その他( )

【問 13-1で「4 地域防災タイムライン」と回答した方にお尋ねします。】

問 13-4 地域防災タイムラインを作成してどう感じましたか。(○はいくつでも)

- 1 簡単に作成できた
- 2 作成するのが大変難しかった
- 3 作成するのに大変な時間がかかった
- 4 災害が起こりそうなときに参考にしたら、適切な避難ができると感じた
- 5 作成する過程で、防災に関するさまざまな知識を得た
- 6 適切に作れているか不安である
- 7 災害時に本当に役立つか疑わしい
- 8 その他( )

【問 13 でマイ・タイムラインを「2 作成していない」と回答した方にお尋ねします。】

問 14 作成しなかったのはなぜですか。(○はいくつでも)

- 1 マイ・タイムラインを作成しなくても、自宅周辺の災害リスクや避難先、避難のタイミングなどは頭に入っている
- 2 自宅が安全な場所にある
- 3 マイ・タイムラインは知っていたが、自分が作成することは考えたことがなかった
- 4 マイ・タイムラインは知っていたが、具体的にどんなものかはよく分かっていなかった
- 5 マイ・タイムラインが役に立つかどうか分からなかった
- 6 興味はあったが、作成するのが面倒だった
- 7 興味はあったが、作成する時間がなかった
- 8 作成したかったが、どうやって教材を入手したら良いか分からなかった
- 9 調べてみると作成方法が難しそうだった
- 10 作り方が難しく途中で作成を諦めた
- 11 マイ・タイムラインを知らなかった
- 12 その他( )

【問 13 でマイ・タイムラインを「2 作成していない」と回答した方にお尋ねします。】

問 14-1 あなたは、これからマイ・タイムラインを作成しようと思いますか。(○は1つ)

- 1 作成しようと思う
- 2 作成する必要性がわからないので、作成しようと思わない
- 3 必要だと思うが、作成するのが面倒なので、作成しようと思わない
- 4 わからない

【全員にお尋ねします。】

問 15 あなたは、今現在、家具などの転倒の防止<sup>(※)</sup>を行っていますか。(○は1つ)

※家具などの転倒の防止…金具や突っ張り棒、ベルト等による家具固定、転倒防止板の挟み込みなどによる対策のほか、寝室にはできるだけ家具を配置しないなど、地震によって家具等の下敷きにならないための備えも含む。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 まったくしていない | → 問 15-1へ |
| 2 少しはしている   | } 問 15-2へ |
| 3 かなりしている   |           |
| 4 十分にしている   |           |

【問 15 で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問 15-1 家具などの転倒防止を行っていないのはなぜですか。(○はいくつでも)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 倒れそうな家具等は置いておらず転倒の防止を行う必要がないから    |
| 2 倒れそうな家具等はあるが、倒れても支障がないところに置いてあるから |
| 3 実際に効果があるかどうか分からないから               |
| 4 大きな地震が起こるかどうか分からないから              |
| 5 住まいが賃貸住宅であるため、手を加えることができないから      |
| 6 手間や費用がかかるから                       |
| 7 どのようにすればよいか分からないから                |
| 8 その他( )                            |

【問 15 で「2 少しはしている」「3 かなりしている」「4 十分にしている」と回答した方にお尋ねします。】

問 15-2 家具などの転倒の防止を行ったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 1 県や市町などのホームページ  | 8 家族                         |
| 2 テレビ・ラジオ        | 9 地域の人                       |
| 3 県や市町の広報誌       | 10 知人(地域の人以外)                |
| 4 インターネットや SNS   | 11 ホームセンター等の販売店で防災コーナーがあったから |
| 5 県や市町、地域のイベント   | 12 避難した経験があるから               |
| 6 県や市町の防災教室、防災訓練 | 13 大きな災害があったから               |
| 7 職場や学校          | 14 その他( )                    |

【全員にお尋ねします。】

問 16 あなたは、海の近くにいる時に地震が起こった場合、どのタイミングで避難しますか。(○は1つ)

- |                      |
|----------------------|
| 1 揺れが収まったらすぐ         |
| 2 津波警報・津波注意報が発表されてすぐ |
| 3 避難指示が発令されたら        |
| 4 近所の人たちが避難を始めたら     |
| 5 津波が見えたら            |
| 6 避難しない              |
| 7 その他( )             |

問 17 あなたがお住まいの地域は、津波による浸水の危険性がありますか。お住まいが該当する区域に立地するかお答えください。(○は1つ)

	自宅が区域に立地している	自宅は区域に立地していない	分からない
津波災害警戒区域	1	2	3

問 18 あなたは、災害が発生するおそれが生じた際や実際に発災した場合に、あなたが避難する避難場所を知っていますか(小学校、公民館、集会所など)。(○は1つ)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1 知っている        | → 問 18-1へ   |
| 2 知らないが知りたい    | } 次ページⅢの問1へ |
| 3 知らないし知る必要がない |             |

【問 18 で「知っている」と回答した方にお尋ねします。】

問 18-1 問 18 で「1 知っている」と回答した避難場所について、設備の有無などを知っていますか。各項目についてそれぞれ該当する番号1つに○をつけてください。

(①～④各項目で○は1つ)

	知っている	知らないが知りたい	知らないし知る必要がない
①駐車場の有無や駐車可能な台数	1	2	3
②洋式トイレの有無や数	1	2	3
③バリアフリートイレの有無や数	1	2	3
④ペットの受け入れの可否	1	2	3



問7 ご家族の中でお身体の具合の関係で避難することが難しい方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

問8 お住まいの住居について教えてください。(○は1つ)

1 戸建て
2 集合住宅(マンション)
3 集合住宅(マンション以外)
4 その他( )

問9 お住まいの住居について教えてください。(○は1つ)

	1階以下	2階	3階	4階	5階以上
①建物全体の階数	1	2	3	4	5
②あなたがお住まいの階	1	2	3	4	5

問10 防災・減災について自由なご意見ををお願いします。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。  
同封している封筒に入れて、2月7日(金)までにご返送ください。

